

なりたの教育

平成27年度



「第1回 総合教育会議(平成27年6月30日)」(左上)
「平成27年7月に開館した成田市文化芸術センターのスカイタウンホール」(右上)
「成田市学校教育振興基本計画策定のためのワークショップ」(左下、右下)

成田市教育委員会

成田市民憲章

昭和46年11月3日制定

信仰のまち、世界に通ずるまち成田はわたくしたちのふるさとです。
ゆたかな自然と文化にめぐまれてきたわたくしたち成田市民は、大きな希望と誇りをもって世界に伸びようとしています。
わたくしたちは、成田のかがやかしい発展とおたがいのしあわせを
ねがい、この市民憲章をさだめます。

- 1 親切な心で
平和な成田をつくりましょう。
- 1 よろこんで働き
豊かな成田をつくりましょう。
- 1 きまりをまもり
住みよい成田をつくりましょう。
- 1 自然と文化を大切に
美しい成田をつくりましょう。
- 1 若い力をそだて
明るい成田をつくりましょう。

はじめに

成田市教育委員会
教育長 関川 義雄

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、本年4月1日より施行されました。これは、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図ることを目的に、これまでの教育委員会制度を改正する内容となっています。本市においては、これまでも教育委員会と市長部局が綿密に連携し、情報の共有を図るとともに、児童生徒間の問題や、家庭環境に起因する問題等が生じた際には、直ちに関係部局と連携を取り、問題の解決に向けた取り組みを行うなど常に緊張感を持って対応してまいりました。これは制度改正の有無にかかわらず、子ども一人ひとりに寄り添った指導を行うという、本市の学校教育の根本姿勢を示すものであります。また、教育の振興のための施策に関する基本的な計画となる学校教育振興基本計画を策定するため、昨年度は児童生徒をはじめ、保護者や教職員を対象にアンケート調査を実施いたしましたが、今年度は市内全中学校区において、児童生徒、保護者、地域の有識者、学校職員によるワークショップを開催し、成田の教育について様々な視点から多くのご意見を頂きました。今後、教育フォーラムなども開催し、国・県の教育振興基本計画や市の総合計画との整合性を図りながら、本年度末までに策定してまいります。

一方、生涯学習の推進については、本年7月にJR成田駅東口に「成田市文化芸術センター」（「スカイタウンホール」と「スカイタウンギャラリー」）がオープンしたことをきっかけに、市民の皆様がこの施設を気軽に利用していただけるよう、広く周知し、文化、芸術への関心をより一層深めていただけるよう努めてまいります。

また、「生涯大学院」、「高等学校等開放講座」、「明治大学・成田社会人大学」、「生涯学習講演会」などを引き続き実施し、ここで学ばれた皆様がその成果を、学校で子どもたちに伝える機会を設けたり、自分自身の生きがいづくりや仲間づくりにも貢献できるようにするとともに、公民館活動への積極的な参加や、図書館サービスの利用で、より一層充実したライフワークをおくっていただけるよう支援してまいります。

なお、生涯スポーツの推進については、これまで同様、スポーツ施設の整備充実、各種スポーツ大会・教室の開催等を行ってまいりますが、8月には、世界少年野球大会が成田市を会場として開催された他、北京で行われた世界陸上競技選手権大会に出場するアメリカ合衆国の陸上チームの事前合宿地として中台陸上競技場が選ばれるなど、昨年引き続き、全国的に注目される数々の大会やイベントが開催されています。こうした機会をとらえ、市民の皆様がより一層スポーツへの関心

を深めていただけるよう努めてまいります。

教育委員会では、こうした様々な事業を行うことで、子どもから高齢者の方まで、幅広く、たくさんの市民の皆様が、明るく健康で活力のある生活を送れるよう、努力してまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

目 次

成田市の概要	1
1 沿 革	1
2 位置・面積	1
3 人口・世帯数	1
教育委員会の概要	2
1 教育委員会	2
2 教育長・教育委員	2
3 事務局の組織・事務分掌・職員数	3
4 教育費	4
(1) 平成27年度の一般会計予算と教育費	4
(2) 平成15年度以降の成田市一般会計決算総額に占める教育費の割合	4
(3) 平成27年度教育費の各種内訳	5
5 平成27年度教育委員会の主要事業	6
学校教育長期ビジョンに基づく学校教育の推進	6
(1) 小中連携・一貫教育の推進	7
(2) 確かな学力と豊かな心の育成	8
(3) 国際理解教育・英語教育の充実	9
(4) 生徒指導・教育相談の充実	9
(5) 読書指導・学校図書館の充実	10
(6) 学校施設整備事業	10
生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進	12
(1) 明治大学・成田社会人大学	12
(2) 生涯大学院	13
(3) 家庭教育学級	14
(4) 放課後子ども教室	14
(5) 成田国際文化会館	14
(6) 成田市文化芸術センター	15
(7) 公民館セカンドライフ支援セミナー	15
(8) 子どもの読書活動の推進	15
学校教育	16
1 施策の概要	16
(1) 教職員の資質向上	16
(2) 特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ21）	16
(3) 特別支援教育の推進	16
(4) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実	17
(5) 学校体育の充実	17
(6) 安全教育の推進	17
(7) 情報教育の推進	18
(8) 学校評議員制度の活用	19
(9) 学校施設の管理と整備	19
(10) 学校問題解決支援事業	19

(11) 学校支援地域本部事業	19
2 教育センター	20
(1) 学校支援の推進	20
(2) 特別支援教育の推進	20
(3) 教育相談	20
(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配付	21
(5) 情報教育の推進	21
3 教育支援センター	22
4 各学校・幼稚園の特色	23
5 学校給食センター	41
(1) 給食指導の充実	41
(2) 献立の充実	41
(3) 衛生管理の推進	41
(4) 食材の放射能対策	42
(5) 給食施設の整備	43
生涯学習	44
1 施策の概要	44
(1) 生涯学習の推進	44
(2) 家庭教育の充実	45
(3) 成人教育の充実	46
(4) 青少年教育の充実	46
(5) 社会教育関係団体活動の支援	49
(6) 文化の振興	49
(7) 平成27年度 生涯学習課事業計画	51
(8) 生涯スポーツの振興	53
(9) 平成27年度 生涯スポーツ課事業計画	56
2 公民館	57
(1) 魅力ある公民館活動の推進	57
(2) サークルの育成・活用の推進	57
(3) 公民館ボランティア推進事業	57
(4) こども体験学習セミナー	57
(5) 広報活動の充実	57
(6) 平成27年度の教室・講座計画	58
3 図書館	59
(1) 図書館サービスの充実	59
(2) 子どもの読書活動の推進	59
(3) 公津の杜分館・公民館図書室等によるサービス	60
(4) 障がい者サービス	60
(5) 平成27年度 図書館事業計画	61
4 視聴覚サービスセンター	62
(1) 視聴覚教材・機材の整備充実と効果的な活用	62
(2) 視聴覚教育研修の充実	62
(3) 広報活動の充実と利用の促進	62
(4) 平成27年度事業計画及び平成26年度活動状況	62

資 料 編	64
歴代教育長及び教育委員	64
市立小・中学校の児童生徒数の推移	64
市立小・中学校・幼稚園一覧	65
社会教育施設一覧	66
体育施設一覧	67
学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧	68
成田市内指定文化財等一覧表	69
平成26年度 学校体育施設開放利用状況	72
平成26年度 公民館利用状況	73
平成26年度 図書館資料点数及び利用状況	74
市内高等学校・私立小中学校・私立幼稚園	75

成田市の概要

1 沿革

成田市は昭和29年に、町村合併促進法に基づき、成田町、公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の1町6村が合併して誕生しました。そして、平成18年3月に下総町、大栄町との合併により新しい成田市が誕生しています。

全国屈指の霊場成田山新勝寺と、宗吾霊堂を中心に門前町として古くから栄え、また、水と緑に恵まれた本市は、約3万年前から人々が生活を始めていたことが知られています。

今、成田市は、霊場と田園が醸し出す「静」と、近代文明の粋を集めた空港を持つ「動」の2つを兼ね備えた特色ある都市として、着実な歩みを続けています。

2 位置・面積

成田市は、千葉県の北部中央に位置し、北は利根川、西は印旛沼に接し、東南は広大な北総大地が続いています。

面積は、213.84km²です。



3 人口・世帯数

人口は、男性 66,462 人、女性 65,475 人、合計 131,937 人で、58,676 世帯となっています。

(平成27年4月末現在)

教育委員会の概要

1 教育委員会

教育委員会は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方教育行政を処理するために、市長から独立した行政委員会として設置された執行機関です。

また、平成27年4月1日から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置や、教育委員による教育長へのチェック機能の強化などの改革が行われました。そのほか、新たに市長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行い、市の教育政策の方向性を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、総合教育会議が設置されています。

教育委員会は、教育長と4名の委員により組織されており、いずれも市長が市議会の同意を得て任命しています。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です。

教育長は、教育委員会の会務を総理し（「教育委員会の会議を主宰する」、「教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどる」、「事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督する」）、教育委員会を代表します。

また、教育委員は、教育長に対するチェック機能を果たすため、会議の招集や教育長が委任された事務の管理・執行状況の報告を求めることができます。

教育委員会会議は原則として毎月1回開き、必要に応じて臨時会を開催しています。

2 教育長・教育委員



教育長
関川 義雄



教育長職務代理者
小川 新太郎



委員
高木 久美子



委員
福田 理絵



委員
佐藤 勲

役 職 名	氏 名	教育長・委員就任日	教育長・委員の任期
教 育 長	関 川 義 雄	H25. 4. 1	H27. 10. 1 ~ H30. 9. 30
教 育 長 職 務 代 理 者	小 川 新 太 郎	H23. 6. 18	H24. 10. 1 ~ H28. 9. 30
委 員	高 木 久 美 子	H24. 10. 1	H24. 10. 1 ~ H28. 9. 30
委 員	福 田 理 絵	H25. 10. 1	H25. 10. 1 ~ H29. 9. 30
委 員	佐 藤 勲	H26. 10. 1	H26. 10. 1 ~ H30. 9. 30

(平成27年10月1日現在)

3 事務局の組織・事務分掌・職員数

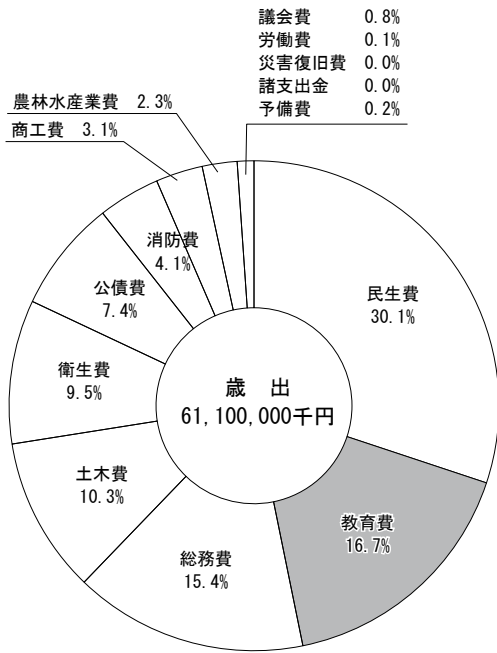
事務局は、教育委員会の所掌に係る事務を遂行するため、教育委員会におかれています。



4 教育費

平成27年度当初予算

(1) 平成27年度の一般会計予算と教育費



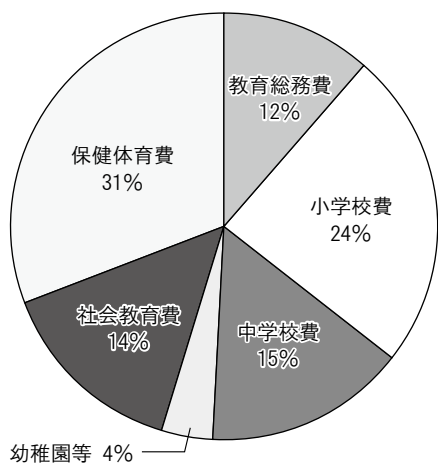
	予算額	比率
議会費	496,486千円	0.8%
総務費	9,438,322	15.4
民生費	18,361,866	30.1
衛生費	5,790,360	9.5
労働費	59,874	0.1
農林水産業費	1,425,102	2.3
商工費	1,915,925	3.1
土木費	6,264,770	10.3
消防費	2,526,501	4.1
教育費	10,223,702	16.7
災害復旧費	2,000	0.0
公債費	4,495,089	7.4
諸支出金	3	0.0
予備費	100,000	0.2
合計	61,100,000	100.0

(2) 平成15年度以降の成田市一般会計決算総額に占める教育費の割合

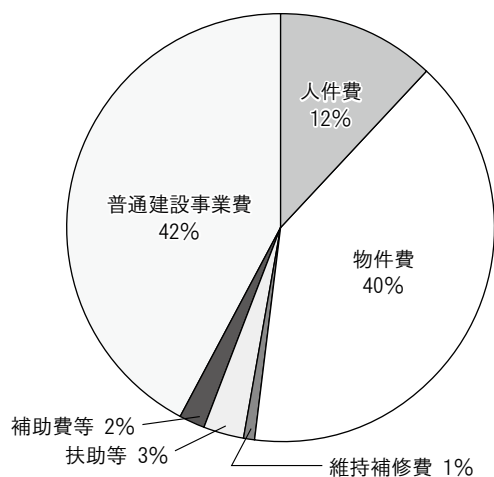
(単位：千円、%) 割合=B/A

年度	決算総額 (A)	教育費 (B)	割合 (%)
15	41,634,295	5,797,159	13.9%
16	42,514,804	7,124,242	16.8%
17	45,765,031	8,153,380	17.8%
18	50,488,411	7,509,311	14.9%
19	50,546,106	5,793,937	11.5%
20	53,354,990	6,180,554	11.6%
21	56,950,790	7,664,770	13.5%
22	54,819,898	7,681,653	14.0%
23	60,937,412	7,897,250	13.0%
24	60,123,109	9,575,943	15.9%
25	58,077,111	9,122,870	15.7%

(3) 平成27年度教育費の各種内訳



幼稚園等 4%



補助費等 2%

扶助等 3%

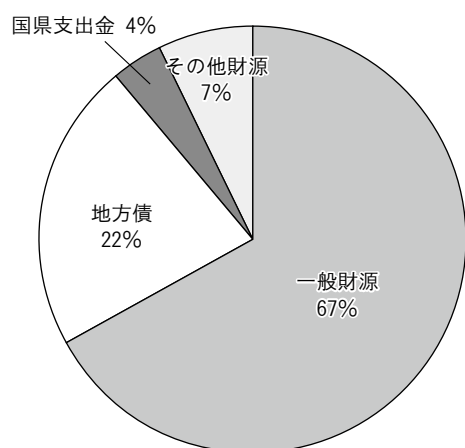
維持補修費 1%

項別内訳

	予算額	比率
教育総務費	1,178,501千円	11.5%
小学校費	2,489,472	24.3
中学校費	1,540,767	15.1
幼稚園費	405,472	4.0
社会教育費	1,459,361	14.3
保健体育費	3,150,129	30.8
合計	10,223,702	100.0

性質別内訳

	予算額	比率
人件費	1,214,174千円	11.9%
物件費	4,092,568	40.0
維持補修費	69,388	0.7
扶助費	323,143	3.2
補助費等	236,067	2.3
普通建設事業費	4,288,203	41.9
積立金	159	0.0
投資及び出資金	0	0.0
繰出金	0	0.0
合計	10,223,702	100.0



国県支出金 4%

その他財源 7%

地方債 22%

一般財源 67%

財源内訳

	予算額	比率
一般財源	6,827,703千円	66.8%
地方債	2,239,800	21.9
国県支出金	404,861	4.0
その他財源	751,338	7.3
合計	10,223,702	100.0

5 平成27年度教育委員会の主要事業

学校教育長期ビジョンに基づく学校教育の推進

教育を取り巻く環境が大きく変化しつつある中で、いつの時代においても子どもたちが未来への夢や希望を抱き、心身ともに健やかに成長し、多様な可能性を伸ばしていくことができる教育環境を築くことが重要です。このため学校教育においては、平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年6月の学校教育法の改正や学習指導要領に基づき、子どもたちの「確かな学力」や「豊かな心」などの「生きる力」の育成を目指して、それぞれの学校や地域での創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開しています。

平成27年度は、こうした学校教育の現状を踏まえ、「成田市学校教育長期ビジョン」の基本理念である「ともに学び、遊び、育つまち成田」の実現を目指し、次のような施策を展開します。

第一に、子どもたちに必要な基礎・基本である「成田・学びの力」を身に付けることができる環境づくりを進めます。そのために、確かな学力と豊かな心の育成、国際理解教育・英語教育・特別支援教育・情報教育の推進など、保護者の期待と信頼に応える学校教育の推進に努めます。

第二に、「成田・学びの輪」づくりを進めます。そのために、中学校区内での小中連携教育、社会人地域人材活用の支援、学校評議員制度の活用、学校情報の公開などの充実を図り、児童生徒の人間関係や経験を広げるなどして児童生徒の生きる力を育みます。

第三に、学校での「成田・学びの師」づくりを進めます。そのために、教職員の資質向上に資する研修会の開催、少人数学習推進教員・健康推進教員、外国人英語講師、特別支援教育支援員、学校図書館司書をはじめとする様々な市独自の非常勤職員の配置などにより、学校における人的学習環境の整備・充実を図ります。

第四に、「成田・学びの舎」づくりを進めます。そのために、学校の主体性の確立を図りながら家庭や地域と連携した学校、地域の実態に即した特色ある教育、地域に開かれた学校づくりの実現を通して、学校教育の一層の活性化を図ります。

また、学校教育長期ビジョンの計画期間が本年度で終了することから、昨年度より本ビジョンの見直しを行っており、本年度中に、概ね10年先を見据えた、学校教育等の目指すべき教育目標・施策の方向性を定めた指針及びそれを実現するための基本施策及び具体施策を示す「成田市学校教育振興基本計画」を策定します。なお、本年度は小中学校の生徒、保護者、教職員や地域の方から、教育に関する様々なご意見を直接お伺いする場として、ワークショップを全中学校区で実施し、そのほか、市民向けフォーラムも開催します。

(1) 小中連携・一貫教育の推進

小中連携教育とは、義務教育9年間において、めざす児童生徒像を小中学校教職員が共有し、一人一人の子どもの成長に一層目を向けた一貫性のある指導を展開し、「生きる力」を育む教育の質的な向上をめざすことを目的とした教育です。本市においては、平成9年度から生徒指導の充実を目的として、中学校区で定期的に情報交換を図ることから始まり、平成19年度からは小中学校で共通の学習のきまりや生活のきまりを設定し、共通した指導で児童生徒を育てたり、行事等で児童生徒間の交流を図ったりするなど、中学校区の特色を生かした効果的な連携教育を推進してきました。

学校適正配置の取り組みによる学校の新設、統廃合が進む中で、平成25年度はニュータウン地区の一部が学区を再編し、中学校区が変わりました。改めて将来を見据えた小中連携教育を以下の内容で計画的、継続的に実践していきます。

- ① 中学校区でめざす児童生徒像を設定し、小中連携教育を推進します。
- ② 中学校区校長会議を定期的実施し、学区内の実態把握、情報交換を図ります。
- ③ 生徒指導担当者会議を定期的開催し、生徒指導の充実を図ります。
- ④ 中学校区教職員の相互研修による授業公開を促進し、学習指導の共通理解を図ります。
- ⑤ 児童生徒が交流する行事や活動を設け、児童生徒間の相互理解を図ります。
- ⑥ 小中連携教育の実態を地域に発信し、地域、保護者の理解を深めていきます。

この小中連携教育をさらに進めた教育方法として、小中一貫教育があります。本市においては、9年間が途切れることのない一貫した教育課程による教育を小中一貫教育ととらえています。

昨年4月に開校した下総小学校は、下総中学校との小中一貫教育を展開することになりました(通称名「下総みどり学園」)。現在、下総みどり学園では、学年区分を3区分(1～4学年、5～7学年、8・9学年)とし、5学年から教科担任制による授業を行うとともに、児童生徒の交流授業、共通行事を実施しています。

このような小中一貫教育を展開することは、義務教育9年間を見通した教育活動を一層進めることになり、小学校から中学校への接続を円滑にし、中学校入学時の不安や心理的格差の解消を図るとともに、小中学校の教員が相互に指導に関わり、よりきめ細かい指導と専門性を生かした指導をすること、また児童生徒の交流により、よりよい人間関係の形成が目指せるものと考えています。

今後は、下総みどり学園のような施設一体型小中一貫教育校で得られた成果や課題をもとに、様々な方式による小中一貫教育のあり方について、先進事例を参考に研究するとともに下総みどり学園の教育活動の成果を積極的に小中連携教育に取り入れ、中学校区で特色ある学校づくりを進めていきます。

また、小中連携を充実させるために、市内全ての学校で、義務教育9年間で子どもを育てるという視点で教育活動が展開できるよう、教職員の意識改革に取り組んでいきます。

(2) 確かな学力と豊かな心の育成

子どもたちに基礎・基本を確実に身に付けさせ、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決するなどの「確かな学力」の定着、一層の向上を図るために、少人数指導・習熟度別指導など、個に応じたきめ細かな指導を積極的に推進するとともに、体験的な学習活動を通じ、子どもたちが相互にかかわり合い学ぶ楽しさを実感できる学校づくりを進めます。

また、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな心」を育むために、道徳教育の充実、学校・家庭・地域が連携した体験活動の機会や情報の提供、読書活動の充実など積極的に支援します。

そのために、教職員の指導力向上を目指した研修会支援や、市教育委員会主催各種研修会の充実に努めています。

平成12年12月から市内の小中学校に配置してきた少人数学習推進教員と養護教諭の資格をもつ健康推進教員については、平成27年度は、少人数学習推進教員を41名、健康推進教員を12名、合わせて53名の配置を行います。少人数学習推進教員の配置により、個に応じた指導の一層の充実を図り、確かな学力の育成を図るとともに、学校生活の全てにおいてきめ細かな指導を行うことを目指します。

本務教員と少人数学習推進教員が連携してティームティーチングや学級・学年を分割して授業を行うことにより、習熟度別・課題別学習を実施し、児童生徒の実態等に応じて発展的な学習や補充的な学習などを実施することが可能になります。また、総合的な学習の時間における問題解決学習や様々な体験的学習を行う上でも人的な支援・援助ができるため、より充実した児童生徒の活動を展開することができます。このように授業方法を工夫改善することにより「楽しい授業・わかる授業」を実現し、より個に応じた指導の充実を図るとともに、基礎学力の定着を図るものです。

また、健康推進教員の配置により児童生徒の心身のさらなるケアに努めています。様々な悩みを抱えて生活している児童生徒に対し、「心の居場所」としての保健室の機能をより高めるため児童生徒数の多い学校を中心に配置し、心身両面からの支援を行っています。



少人数学習推進教員の配置



健康推進教員の配置

(3) 国際理解教育・英語教育の充実

国際空港都市成田の将来を担う児童生徒に、日本人としての自覚を持ち、異文化理解などの国際性や、英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を育むために、全国でも先進的に取り組んできた国際理解教育・英語教育の一層の充実を図ります。

平成15年度より内閣府の特区制度を活用して取り組んできた「国際教育推進特区」は、平成20年度から文部科学省の「教育課程特例校」として継続しています。

これにより全国では5年生から開始される外国語活動を、市内の全小学校では1年生より開始し、1年～4年生で20分のプランを週2回、5・6年生で20分のプランを週2回と45分を週1回の英語科授業を実施しています。全中学校においては、年間標準時数140時間の英語科授業を1年生155時間、2・3年生158時間に増やして実施しています。

また、外国人英語講師を各学校に配置し、小学校では市が独自に作成している「小学校英語標準年間指導計画」をもとに全ての英語科授業で学級担任と外国人英語講師とのチームティーチングによる指導を行っています。中学校においても、外国人英語講師を各学校に配置し、英語科授業や学校生活全般を通して、英語に触れる機会を多くすることで英語教育、国際理解教育を推進します。さらに、英語教育に関する検討委員会を開催し、本市の英語教育の方向性を検討していきます。また、主任ALTによる外国人英語講師の指導などを通し、直接的・間接的に支援を行います。



外国人英語講師の配置

さらに、市で独自に作成している「小学校年間指導計画」及び「中学校拡充英語指導案」の見直しを毎年行うとともに、英語科授業や様々な教育活動を通して、国際理解教育・英語教育を推進します。

また、これまでの本市英語教育の成果や課題を明らかにするための手立ての一つとして、成人式の参加者を対象に「小・中学校の英語学習」に関する調査を行いました。

本市では、全小中学校にALTを配置していますが、今回の調査で「英語の授業にALTがいてよかったですか。」には、94%が「はい」と回答しました。小中学校で学んだ英語の有効性については、「街中で道に迷っている人を助けるときに役立つ。」「外国に行ったときに役立っている。」「外国の人と話すときに躊躇しない。」「空港でのアルバイトで役立つ。」「簡単なことなら理解できる。」などが多く寄せられ、「今後も英語を学んでみたい。」と考えている人も全体の8割を越えていました。

この調査は今後も数年間継続し、本市英語教育の方向性の検討に活用していきます。

(4) 生徒指導・教育相談の充実

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導・援助を行いま

す。単なる問題行動への対応という消極的な面にとどまることなく、問題行動を生み出さない積極的な生徒指導を推進します。

そのために、生徒指導の基本である人間関係の構築を基本に、生徒指導の機能を生かした、生徒が自己存在感、達成感、成就感を感じる、わかる授業づくり、誰もが安心感を得られる学級経営に努めます。

暴力行為、いじめ、携帯電話等に関わるトラブル、不登校、児童生徒の問題行動等については、原因や背景は個々の事例により様々であり、学校・家庭・地域社会それぞれの要因が複雑に絡み合っており発生しているのが現状です。いじめについては、学校いじめ防止基本方針に基づく対応並びに本市いじめ問題対応マニュアルの活用を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めます。

また、指導主事が積極的に学校を訪問し、問題解決に向けた支援や生徒指導に係る様々な資料を提供するとともに、生徒指導主事（主任）研修会の充実を図ります。「中学校区小中生徒指導連絡会」を実施し、小中学校間の連携の充実を図るとともに、庁内他課、児童相談所、北総地区少年センター、警察等の関係機関との連携をより一層強化します。

不登校対策としては、教育センターに臨床心理士の資格を有するカウンセラー2名を配置します。このうち1名は市内の児童生徒・保護者及び教職員を対象に教育相談を行い、児童生徒が抱える様々な悩みや不安の軽減・解消を図ります。もう1名は、教育支援センター「成田市ふれあいる一む21」に通う児童生徒とその保護者を対象に教育相談を行い、学校復帰を支援します。

さらに、市内12校の拠点小学校に教育相談員を配置し、近隣の小学校に在籍している児童・保護者を対象とした教育相談活動を実施し、各中学校及び公津の杜小学校に配置されているスクールカウンセラーとともに保護者や子どもたちの様々な悩みや不安に対応していきます。

(5) 読書指導・学校図書館の充実

学校図書館は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするなど、子どもの読書活動を推進する場であるとともに、「総合的な学習の時間」や各教科の中で課題学習や調べ学習など児童生徒の主体的・意欲的な学習活動を展開していく場として、学校の教育活動において重要な役割を持っています。

学校図書館のこうした機能の充実のために、学校図書館司書を配置し、レファレンスサービスを提供するとともに、図書購入、蔵書のデータベース化など様々な環境整備の充実に取り組んでいます。

本年度は引き続き市独自の学校図書館司書を27名雇用し、すべての学校に学校図書館司書を週2日以上配置します。子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境づくりに向け、学校図書館司書と司書教諭や市立図書館との連携をより一層強化し、学校図書館の活用の充実を図ります。

(6) 学校施設整備事業

大栄地区小学校5校の統合（※）に向けて、本年度は、中学校との一体型校舎として建設するた

めの実施設計に着手します。

また、経年により老朽化した学校施設について、教育環境の改善及び建物の耐久性の確保を図るため、新山小学校南棟、吾妻小学校東棟、吾妻中学校東棟の大規模改造工事を実施するとともに、遠山中学校、下総中学校の空調設備機能回復工事、バリアフリー整備事業として向台小学校屋内運動場への多目的便所の新設、維持整備事業として小学校のトイレの洋式化や、防災機能を強化するため屋内運動場他の天井等の耐震対策工事など、近年の生活様式に対応した改造工事や変化する教育現場にふさわしい施設整備を実施します。



大栄地区小中一体型校舎（完成予想図）

※大栄地区については、当初5校（大須賀小学校、桜田小学校、前林小学校、津富浦小学校、川上小学校）を新設校2校に統合する予定でしたが、大栄地区の児童数が当初の推計と比較して減少傾向にあることや大栄地区の住民の方々の意向を考慮し、新設校1校に統合するように計画を変更しました。また、平成25年8月に大栄地区区長会から教育委員会の統合案を受け入れる旨の回答書が提出されており、現在、統合に向けて、地区で立ち上げていただいた検討組織「大栄地区小学校統合推進委員会」と教育委員会とで様々な検討課題等について協議しています。

生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進

国際化や情報化が進む21世紀は、「こころ」と「こころ」を結ぶコミュニケーションづくりを充実させ、「人のつながり」を大切にした市民生活が重要となります。

市民と行政とが連携・協働して「みんなで」学習活動を盛り上げ、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の市民「だれもが」自ら主体的に「いろいろな」学習機会にふれることで、世界の人々に対して誇れるような個性と広い視野を備え、成田を大切に、互いに助け合い、共に学びながら、社会情勢の変化に対応し、自立して生きていける「国際市民」を育むことが生涯学習分野における重要課題ともいえます。

私たちが「国際市民」となる上で重要なことは、本市の持つ自然や歴史の中で育まれた地域環境のもとで一人の市民として、何を学び、何をしたいのか、何ができるのかを考え、豊かなコミュニティづくりを進めるために生涯学習を実践していくことです。

こうした過程を経て、私たちは真の「国際市民」となっていくものと考えます。

このように、成田の豊かな自然と歴史のもと、市民一人一人の生涯にわたる学習を支え、「国際市民」を育むことを基本理念とし、「市民が学習成果を活かせるまちづくり」を導いていくための施策の推進に努めます。

平成27年度は、市民と連携・協働し、誰もが生涯にわたる生きがいを持ち、その成果をまちづくりに生かせるよう「生涯大学院」「明治大学・成田社会人大学」などの充実に努めるとともに、放課後子ども教室などの子どもの居場所づくり推進事業のさらなる充実、公民館等での子育て支援事業の推進、子どもの読書活動の推進に努めるとともに、スポーツ健康宣言都市として積極的な事業を展開するなど、文化やスポーツの振興を含めた生涯学習社会の実現に努めていきます。

(1) 明治大学・成田社会人大学

高まる市民の学習ニーズに対応し、より専門的な学習機会を提供するとともに、激動する世界情勢の変化に対応できる「国際市民」を育むことを目的として、平成9年度から「明治大学・成田社会人大学」を開講しています。

平成14年度から、称号付与制度（修学士・教学士・弘学士）を開始し、学習意欲の向上に努めており、学習成果を「まちづくり」に生かせるカリキュラム編成を行います。

【平成27年度 学習テーマ】

○国際社会課程：21世紀世界の社会と経済 ～深まる混迷と確執～

20世紀末、東西冷戦が終結。これで「核戦争」の恐怖から逃れ、平和な世界が到来するものと思われました。ところが、経済のグローバル化が進む中、各地域では諸国家間の「国益」対立が新たに起こり、諸国の排外主義的な「ナショナリズム」が掻きたてられています。民族紛争や宗教対立といった戦争リスクに加えて、資源（石油等）をめぐる利権闘争も激しさを増しています。21世紀世界の現況とその将来展望とは——？ 成田の皆さんとともに、考えたいと思います。

○地域社会課程：人口減少社会における諸課題を考える

～現状の分析と対応策について～

2011年、日本の人口は初めて減少し、人口減少社会に転換しました。人口推計によると、2060年には9000万人を割ると予測されています。また、子供の数が減り、高齢者の数が増える少子高齢化も進行しています。本講座では、このような社会の変化と関連する諸問題や諸課題について取り上げます。内容としては、自治体危機、まちづくり、医療、少子化、雇用、社会保障、環境、スポーツ、くらし、政治、教育の各分野を取り上げます。

○緑地環境課程：消費者ニーズに応える植物・食料生産とは

～安心・安全・安定・低価格への取り組み～

農業は言うまでもなく、食を支える重要な産業です。安心、安全、安定を担保しながらも、低価格が求められており、それらを支えるために様々な工夫がなされていますが、消費者にその現状がどのようになっているのかあまり知られていません。例えば、その生産方法をみても、無農薬等という利点を持つ「植物工場」の登用が進むなど、新たな研究成果に基づき、多様な取り組みが行われているのです。

本講座では消費者が求める情報・商品作物などが、どのように工夫され、世に出ているのかを様々な視点からお話しします。



開講式の様子



講義風景

(2) 生涯大学院

60歳以上の人を対象として、社会環境の変化に順応していくための学習機会を提供し、高齢者が社会の担い手として能力を地域社会のために生かし、新たな生きがいを創造することを目的に、3学年制による生涯大学院を開設しています。

○生涯大学院

教養講座：成田の歴史、健康、環境問題等の一般教養（各学年 年間25回程度）

専門講座：書道、陶芸、園芸、油絵、音楽、体操（選択制 年間15回）



生涯大学院～グラウンド・ゴルフ教室～



生涯大学院～学園祭～

(3) 家庭教育学級

親等が家庭で子どもの教育を行う上で必要な心構え・扱い方・留意点などを、集団で意図的・継続的に学習し、望ましい保護者の在り方や子どもに対する教育の資質を高め、保護者どうしがつながることを目的に実施しています。「健康・安全」「環境・エネルギー」「食育」「人権」の4項目を重点テーマに、本年度も、市立小中学校35校のほか、市立幼稚園1園・私立幼稚園9園の10幼稚園、市立保育園12園・私立保育園8園の20保育園で計66の家庭教育学級を開設します。

(4) 放課後子ども教室

放課後や週末等に小学校の空き教室等を活用して子どもの居場所を設け、地域の方の参画により、外遊びや自主学習、スポーツ、ものづくり等の体験学習機会を提供します。

本年度は新たに1教室増やして、6小学校区で放課後子ども教室を実施します。



おばあちゃんと遊ぼう
～こめっ子クラブ～

(5) 成田国際文化会館

平成24年4月からの指定管理者選定にあたっては公募により実施し、成田国際文化会館の運営方針並びに事業計画について、選定基準に基づいて評価・採点を行った結果、株式会社ケイミックスが指定されています。管理運営にあたっては、多様な事業が提案されており、成田の文化活動の振興に資するため、多くの市民が鑑賞し、参加できる様々な自主文化事業を実施します。

◎鑑賞型事業

○稲川淳二の怪談ナイト	8月 2日 (日)
○ORANGE RANGE LIVE	9月26日 (土)
○稲垣潤一コンサート	11月 7日 (土)
○プラスの祭典	11月29日 (日)
○成田寄席 文珍・小遊三 二人会	12月23日 (祝)
○成田市民ミュージカル発表会	1月24日 (日)
○美輪明宏 ロマンティック音楽会	2月11日 (祝)
○しまじろうコンサート	2月21日 (日)

○高嶋ちさ子コンサート

平成27年度中

◎受託事業

○青少年感動芸術劇場 民話芸術座「火の鳥～羽衣編～」

11月19日（木）～27日（金）

○青少年感動芸術劇場 井上あずみ&ゆーゆクリスマスファミリーコンサート

12月13日（日）

◎参加創造型事業

○（カルチャークラブフェスティバル・もう一度ABCから学ぶ英会話・ヒップホップダンス【キッズ】
【ジュニア】【レギュラー】・英語で歌おう・アロマキャンドル・ハーブカレー・感動のゴスペル・飾り巻ずしを作ってみよう・やさしい韓国語講座・健康的で楽しい口笛・スタインウェイを弾いてみよう・演劇ワークショップ・安らぎのオカリナ・ラテアートに挑戦・プラモデル）

（6）成田市文化芸術センター

音楽、美術、演劇、舞踊等の鑑賞及び実践の場並びに人々の集う場として、平成27年7月にオープンしたスカイタウンホール、スカイタウンギャラリーから成る施設です。文化芸術の振興及び市民の文化芸術活動の発展に寄与し、にぎわいを創出するために、様々な自主事業を実施します。

（7）公民館セカンドライフ支援セミナー

公民館では、「団塊の世代」の方や既に現役を引退された方などが、今後も心身ともに健やかで生きがいを持ち、豊かな人生を送れるよう支援するためのセミナーを開催します。

（8）子どもの読書活動の推進

「成田市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境づくりを目指し、子どもの読書活動推進にかかる施策を総合的に推進します。

学校教育

1 施策の概要

(1) 教職員の資質向上

学校教育に直接携わる教職員は、児童生徒の人間形成に極めて大きな影響を与えます。このため、学習指導の工夫・改善をはじめ、学級経営の充実や生徒指導の在り方など、教職員の資質を高め、学び続ける教師を支援するために各種研修会への積極的な参加を奨励します。

また、教育センターでは現場のニーズに応じて、

- 教育センター講座…今日的な課題をテーマに、指導法や対応について学ぶ講座
- 教育相談講座…より深い児童生徒理解を希求するための講座（県教育センターの教育相談講座基礎と同等の資格を取得可能）
- 学校教育相談研修会…児童生徒の持つ不安や悩みなど様々な問題の解決に向けて、学校が組織的に対応する際のリーダーの育成
- 小学校理科実技研修会…若手教員等を対象に、理科実験の基礎、観察のポイント、安全指導等について学ぶ

等の研修会を開催しています。

(2) 特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ21）

保護者・地域住民から学校運営の状況についての関心が高まり、地域とともに歩む学校づくりを推進するとともに魅力ある学校教育が求められています。学校においては、児童生徒一人一人の個性や学校・地域社会の特性を生かした自主的、創造的な取り組みを通じ、教育活動の特色化、活性化を推進することが重要になっています。

このため、校長の裁量により、専門家を招いた授業の実施や、地域と連携したボランティア活動等の体験を行うなど、各学校のマネジメントに応じた特色ある学校経営を創造するために、引き続き財政的支援を行います。

(3) 特別支援教育の推進

心身に障がいがあるなど特別に支援を必要とする児童生徒の就学・教育活動を支援します。

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、自閉症スペクトラム等を含め、心身に障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や支援を行います。

そのため、特別支援教育コーディネーター対象の研修会を開催し、特別支援教育コーディネーター

の資質向上と校内組織の充実を目指します。また、特別支援教育に関して専門的な知識や経験を有した特別支援教育巡回指導員3名を教育センターに配置し、学校からの要請に応じて巡回相談を実施します。

さらに、個々の障がいの種別や程度に応じた適切な教育がなされるよう、特別支援学級等に在籍する児童生徒の障がいの程度や人数に応じて、養護補助員を配置しています。平成27年度は40名の養護補助員を23校へ配置しています。

また、通常の学級に在籍する発達障がいのある児童生徒への支援を充実するため、平成20年度から特別支援教育支援員を配置しており、平成27年度は21名の特別支援教育支援員を21校へ配置しています。

(4) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実

市内全中学校に加え、今年度より公津の杜小学校にも県費のスクールカウンセラーが配置され、更に市として拠点となる小学校12校に教育相談員を配置し、児童生徒へカウンセリング等を行うとともに、教職員及び保護者への助言・援助を行う等、効果的な活用とその充実を推進します。

また、教育相談員やスクールカウンセラー、関係小中学校教職員等からなる教育相談連絡協議会を設置し、教育相談の理論と技能を習得し、児童生徒のもつ様々な問題解決に向けての指導力の育成を図るとともに、小中連携を含めた効果的な教育相談体制の確立に努めています。

(5) 学校体育の充実

児童生徒が生涯にわたり心身ともに健康で楽しく明るい生活を営むための健康の保持増進や体力の向上を図ります。近年、子どもの基礎体力の低下が叫ばれていますが、本市においても、このことを重要な課題として受け止め、児童生徒が自ら進んで体力の向上を目指した体育的諸活動の充実を推進します。その指標として、第2次成田市生涯スポーツマスタープランに基づき、運動能力証の合格率を平成32年度までに30%となることを目指します。

そのために、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむための資質や能力を育むため、体育の授業の充実や教員の指導力向上を図ります。体育授業においては、優れた指導力を有する教員から指導技術を学ぶための研修会等を実施していきます。

また、小学校1・2年生体育科の「水遊び」（低学年水泳指導）の充実のために、小学校11校に体育実技指導協力者を派遣するとともに、児童生徒の体力向上と積極的交流を図るために「成田市ロードレース大会」を開催します。

(6) 安全教育の推進

心身の発達に応じた安全教育を推進し、児童生徒の安全意識を高めるために、各校の実態に応じた学校安全計画及び危機管理マニュアルの作成、安全点検や安全に関する指導（不審者対応訓練や

避難訓練の実施、交通安全教室の開催等)の充実を図ります。

また、地域や保護者との連携を図りながら、学校内外の安全教育の充実と安全管理の徹底に努めます。なお、本市では、日本スポーツ振興センター法の共済掛金を市費で全額負担するとともに、中学生の自転車通学用ヘルメット購入費の半額を補助します。

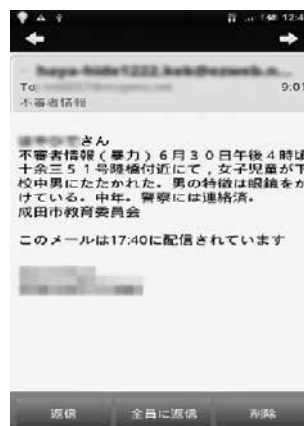
子どもの登下校や戸外での活動の安全性を高めるために、小学校1年児童に通学用帽子とランドセルカバーを無償配付するとともに、児童及び生徒の希望者に防犯ブザーを貸与します。

また、不審者情報はなりたメール配信サービスを通じて迅速かつ正確に保護者に連絡します。

さらに成田市PTA連絡協議会からの「児童生徒の登下校の安全確保に関する要望書」や学校からの要望に対して関係課や関係機関との連携を図り、交通安全・防犯の両面から通学路における危険個所の改善に取り組むとともに、通学路の安全確保に関する取り組みの方針として「成田市通学路交通安全プログラム」を策定します。



交通安全教室の様子



携帯電話へ不審者情報を配信します

(7) 情報教育の推進

学校教育のICT化を推進し、情報及び情報手段を適切に選択・活用する能力等の情報リテラシーを育成するために、学校間情報ネットワークシステムの有効活用を図ります。

情報教育関連の各種の研修会については、パソコン室、電子黒板、大型テレビ等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い情報共有を図るなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

また、情報セキュリティや情報モラルについては、スマートフォンやSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）上のトラブルの実態とそれを防止するための指導の在り方について、警察・専門業者・NPOなどの研究団体と協力して児童生徒、保護者への啓発を図るよう、資料の提供や研修会を推進します。

また、各学校が計画するICT研修会では、インストラクターを紹介するなどして、より専門的かつ充実した内容で研修が行われるよう学校の要望に応えます。

そのほか、タブレットなどの新しいICT機器の導入や活用方法の検討を進め、授業支援システム等の見直しも図っていきます。

(8) 学校評議員制度の活用

地域住民の学校運営への参画を得て、地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校ごとに学校評議員を委嘱しています。

学校評議員の職務は、校長の求めに応じて、校長の行う学校運営に関して意見を述べることです。学校・家庭・地域が手を携えて、より良い教育の実現を目指すとともに、学校の自主性・自律性を高め、校長が地域の声を把握しながら適正に学校運営を行うことを支援していきます。各学校の創意工夫を生かした取り組みの一層の充実を図ります。

(9) 学校施設の管理と整備

学校施設の保守点検や修繕をはじめ、老朽化や教育環境の変化に対応するための改造工事を段階的に実施します。

また、バリアフリーに配慮した整備や、地球温暖化防止を視野に入れた太陽光発電の導入も進めています。

(10) 学校問題解決支援事業

学校に寄せられる様々な苦情、要望等のうち、学校の対応や取り組みだけでは解決が困難で、対応に法的、専門的な知識や経験を必要とする案件の問題解決を図るため、成田市学校問題解決支援チームを設置しています。

本チームは弁護士、カウンセラー、精神科医等の各分野の専門家で構成し、より高度で専門的な相談体制を確立して、児童生徒をめぐる問題等が長期化、複雑化することを防止し、解決に向けて対応することにより、学校の負担軽減を図り、学校本来の役割である教育課程や生徒指導等の推進、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう学校の支援をします。

また、平成26年度よりチーム内に「成田市いじめ専門部会」を設置し、いじめに関する重大事態が発生した場合の対応等も行います。

(11) 学校支援地域本部事業

地域住民が学校支援ボランティアとして、学校活動をサポートする体制を整備し、地域とともに歩む学校づくりを進めます。学校とボランティア間の連絡調整の役割を担う地域コーディネーターを各校に配置し、地域ボランティアによる学習支援や通学路の安全確保などの学校支援を、より効果的に行えるように取り組んでいきます。今年度は市内4校で実施し、検証のうえ拡充していきます。

2 教育センター

教育センターは、学校関係職員の研修、校内授業の支援、教育資料及び教材の収集・作成並びに活用、特別支援教育及び教育相談等の業務を行います。

(1) 学校支援の推進

教職員の資質向上のため、各種研修会の企画・運営や様々な教育関係情報の収集と提供を行います。

各教科道徳・特別活動・総合的な学習の時間等の書籍を整備して、図書の貸出しや教職員の様々な要望に対するレファレンスサービスを行うとともに、ラミネート機を使った教材・資料の作成等も行います。

(2) 特別支援教育の推進

担当指導主事と学校適応専門指導員が就学前の子どもを持つ保護者の相談にあたります。また、昨年度、「成田市心身障害児就学指導委員会」の名称を「成田市心身障害児教育支援委員会」と改めました。成田市では、「成田市心身障害児教育支援委員会」を年3回開催し、就学に関する専門的な意見を関係者からうかがいながら、保護者と就学先についての相談を行います。委員会では、就学後のフォローアップとして、必要に応じて、子どもの発達の程度や適応の状況等を勘案しながら、在学中も学びの場について関係者と共通理解をしたり見直しをしたりするなど機能の拡充を目指します。

また、通常の学級に在籍するLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）等を含めた発達障がいなどのある子どもたちの適応上の課題等への対応について、担当指導主事、特別支援教育巡回指導員が学校に出向き、教職員や保護者への相談・支援を行います。

平成22年9月から、医療行為等が必要な児童生徒の学校生活を支援するため、教育センターに巡回看護師を配置しています。

(3) 教育相談

教育センターに1名の臨床心理士を配置し、不登校等に悩む児童生徒や保護者、教師を対象に相談活動を行います。

また、いじめや不登校、問題行動等心の問題を抱える児童生徒に対応する学校を支援、児童生徒の様々な問題に対応する教師のスキルを高めるための校内研修会及び校内事例検討会等に、講師や助言者として、成田市内の精神科医又は臨床心理士を派遣します。

(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配付

自分が地域社会の一員である自覚や地域社会に対する誇りと愛情が培われるよう、小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちの成田市」、評価テスト、白地図等の改訂作業を毎年行い、大きく発展する成田市及び周辺地域の現状に即した資料の提供をする等、地域学習資料の充実を図ります。

発行については、平成22年度から隔年発行しています。

(5) 情報教育の推進

情報教育を推進するため、教育用のセンターサーバ等の運営や、学校でのICT活用を支援します。

また、情報教育関連の各種研修会を開催したり、各学校内での研修会の運営を支援し、パソコン教室、電子黒板、大型テレビ等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い情報共有を推進するなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

3 教育支援センター

学校不適應等により登校できないでいる児童生徒の学校復帰を目指し、教育支援センターを充実します。

教育支援センターでは、専任の指導主事を1名配置するとともに、7名の指導員が児童生徒の支援にあたります。また、通所する児童生徒一人一人にきめ細かく対応するため、「臨床心理士」を教育支援センターに配置（1週間に1日程度）し、通所する児童生徒及び保護者に教育相談を実施します。さらに、ケース会議において、月1回教育支援センタースーパーバイザーの助言を受け、児童生徒の学校復帰を目指します。

また、担当指導主事、指導員の学校訪問等により、各学校との連携を密にし、通所する児童生徒一人一人の学校復帰の足がかりとします。



教育センター・教育支援センター



教育支援センター「ふれあいるーむ21」

4 各学校・幼稚園の特色



成田市立成田小学校
(創立 明治6年)

児童数 716人
学級数 26学級

自主創造を合言葉に、やさしく・かしこく・たくましく生きる成小の子の育成に向けて、職員・家庭・地域が一体となり、教育活動を進めています。児童の基礎的・基本的な力の習得と、これまで培ってきた「コミュニケーション能力」を生かした学力の向上を図るため、全職員共通理解のもと指導していきます。また昨年度に引き続き、学力を側面から支える家庭学習の習慣作りにも、力を入れていきます。若い職員が多い学校ですが、授業の質の向上、教師と児童の関わりの中身の向上を目指し日々研鑽に励んでいます。

成田小学校の特色ある活動としては、参道に近いという立地条件を生かし、参道を訪れた外国からのお客様と英語を使ってコミュニケーションを図る参道活動があります。また、PTA活動も盛んで「成小フェスティバル(バザー)」や保護者と児童が協力して行う「エコ活動」を実施しています。古い町並みに見守られながら、成田小の子どもたちは元気に学校生活を送っています。



成田山参道での参道活動の様子



音楽集会の様子



成田市立遠山小学校
(創立 明治35年)

児童数 61人
学級数 7学級

学校教育目標「育て駒っ子 かしこく やさしく すこやかに」

成田市南に位置し、成田国際空港に隣接した畑作を中心とした農家が点在する地域にあります。

校地は三方を学校林「駒の森」に囲まれ貴重な里山の自然が大切に守られています。

本校では環境学習にカタクリの花、アカハライモリなどの動植物を生かし、豊かな学習活動を展開しています。保護者、地域の皆さんは学校教育への関心が高く、連携、協力して学校づくりに取り組んでいます。

また、「素敵な先輩シリーズ」と題して、地域や、本校出身の先輩の皆様に来ていただき、貴重な体験やお話をじかに子どもたちにさせていただいております。その大きな感動が、子どもたちの意欲につながっているように感じられます。今年度は、週に一度、司書による「読み聞かせ」か読書を時間割に位置づけ国語科の研究を中心に取り組んでいきます。



東小と統合して2年目、
今年の漢字は前に「進」む。



全校児童による「螺旋滑り台」を
使った避難訓練。



成田市立三里塚小学校
(創立 昭和25年)

児童数 433人
学級数 18学級

明治24年三里塚尋常小学校として発足し、遠山小学校三里塚分教場を経て、昭和25年に遠山村立三里塚小学校として開校しました。成田国際空港に隣接しており、外国籍の児童が多く、日本語の特別指導を行っています。校庭の「大えのき」をシンボルとし、『自分を磨き、自分も他人も大切にする児童の育成』を教育目標に、わかる授業、楽しい教室、夢広がる学校を目指しています。親子レク、リサイクル活動及び高齢者と子どもたちとの交流会など、保護者や地域の方、高齢者の方との交流を積極的に実施しています。また、地域ボランティアの方と一緒に、挨拶運動も行っています。平成27年度の研究は『文章を正確に読み取り、自分の考えを表現できる児童の育成』を研究主題に据え、子どもたちの実態にあった国語科の授業に取り組みます。学校・家庭・地域が連携をとり、確かな学力・豊かな心を育む特色ある学校づくりを推進してまいります。



「オープンスクール (学年発表会)」
学年ごとに趣向を凝らした発表をします。



「なわとび集會」
縦割りグループで親睦を深めます。



成田市立久住小学校
(創立 平成23年)

児童数 316人
学級数 14学級

学校教育目標「夢をめざし 心豊かで たくましく生きる児童の育成」のもと、「くじけず学習する子・ずっと仲良し心やさしい子・みんな元気でたくましい子」を目指して教育活動に取り組んでいます。

学区は成田市のほぼ中央に位置し、本校周辺の開発・宅地造成地区を囲むように水田地帯や畑作地帯、里山が広がる自然豊かな地域です。児童数は増加傾向にあり、本年度は2学級増の14学級となりました。保護者や地域の教育への理解や支援もあつく、豊作や健康を願う「牛馬づくり」や「昔遊び」、「米作り体験」、「職業人に学ぶ」など、地域人材を活用し豊かな自然の中で培われた伝統と文化を積極的に教育活動に取り入れています。

本年度は算数科指導の研究を基軸として、基礎基本の確実な習得を図り、学んだことを自らの課題解決に活用する力の育成に取り組んでいきます。



災害発生時の現実的な対応を想定して、久住中生徒との合同防災訓練を行っています。



子供の読書活動を家庭で充実させることをテーマに、教育ミニ集を開きました。



成田市立豊住小学校
(創立 明治22年)

児童数 61人
学級数 7学級

本校学区は、成田市の北西部に位置し、北は利根川、南は根木名川に囲まれ、緑豊かな田園風景が広がった歴史的な文化や伝統を継承している地域です。祖父母や保護者のほとんどの方々が本校を母校とし、「ふれあい参観」や「地区合同運動会」等の行事では、三世代が交流するなど、学校に対して非常に協力的です。

「やさしく、かしこく、元気な子」を学校教育目標として掲げ、小規模校のメリットを生かしたきめ細かな教育を推進して、一人一人が輝ける教育を目指しています。今年度は、算数科を中心とした研究を通して、基礎学力の向上に努めるとともに、児童の思考力・判断力・表現力の育成に取り組んでいます。本校の校訓でもある福沢諭吉翁由来の「独立自尊」を合言葉とし、地域との連携を一層密にして、地域コミュニティの核としての学校づくりを進めています。



「地区合同運動会」では児童・教職員・保護者・地域の方々が一体となって秋の運動会を楽しんでいます。



地域のお年寄りとお遊びを楽しむ子どもたち。



成田市立八生小学校
(創立 明治6年)

児童数 78人
学級数 7学級

成田市街の中心より北西へ約3km離れた場所に位置し、緑豊かな自然に恵まれた伝統ある学校です。地域住民は、学校への関心が非常に高く協力的です。

学校教育目標「やさしく かしこく すこやかに」のもと、基本的な生活・学習習慣の確立、体力向上、家庭・地域社会との連携を重点目標に掲げ、学校全体で朝読書や詩の暗唱、計算・漢字検定、なわ跳びに取り組むとともに、縦割り活動や地域との交流、外部人材を活用した体験等、小規模学校のよさを生かした活動に取り組んでいます。

全校で運動を通したすこやかな体づくりを目指し、「遊・友スポーツランキングちば」に挑戦しています。昨年度は、2年生が「みんなでリレー」低学年の部で1位を獲得するなど、全学年が10位以内に入り、学校賞を頂きました。また、「早寝早起き朝ごはん」運動を推進し、文部科学大臣より表彰されました。



「遊・友スポーツランキングちば」に挑戦し、2年生が「みんなでリレー」低学年の部で1位を獲得しました。



「青少年綱引き大会」に出場し、選手の爽やかな行動と懸命に試合に参加する態度が認められ「特別賞」を頂きました。



成田市立公津小学校
(創立 明治6年)

児童数 132人
学級数 8学級

本校は創立143年目を迎え、「心豊かで、自ら学ぶ、たくましい児童の育成」を目標に、保護者や地域との連携を図り、開かれた学校づくりを推進しています。めざす児童像として、「思いやりのある子」「自分で考え進んで学ぶ子」「元気でがんばりのきく子」を掲げ、命を大切に、明るい挨拶ができ、基礎・基本をしっかりと身につけた子どもたちを育てようとしています。特に「あかるい あいさつ じぶんから さきにおうね 公津っ子」を合言葉とする「あじさい運動」に力を入れ、いつでもどこでも自分から進んで挨拶ができる子どもたちの育成に努めています。また、全校徒歩遠足（手つなぎ歩行会）や運動遊び（杉の子タイム）などの異学年交流（杉の子活動）や地域との交流を年間通して計画的に行い、思いやりの心や協働性・協調性を育てていきます。校内研究では、今年度から、児童一人一人の確かな学力の向上を目指し、国語科・算数科の研究に取り組んでいきます。



運動遊び（杉の子タイム）にて



「5年英会話体験」ラディソンホテルにて



成田市立向台小学校
(創立 昭和47年)

児童数 308人
学級数 15学級

成田空港の開港に伴い、本市中央部に造成された成田ニュータウンの中に一番最初に開校した小学校であり、今年で創立44年目を迎えます。中台3・4・6丁目を学区とし、学校の近くには公園が点在して緑道も多く緑豊かな地域です。

保護者の学校教育への関心はきわめて高く、学習支援や読書ボランティア活動など大変協力的です。学校教育目標の合い言葉「花いっぱい・歌声いっぱい・笑顔いっぱい」を基に、全校児童による栽培活動（通年）、全校集会での歌、毎週月曜日の登校時のあいさつ運動に取り組んでいます。

また、課外活動が盛んで、陸上練習・ミニバスケットボール練習・つなひき練習・金管練習などがあります。さらに、ニュータウンあおぞら会との交流会・生涯学習大学院の方々と1年生の昔遊びを通じた交流会・地域の方とふれあひながらの福祉活動など「地域と共に歩む学校」をめざしています。



「笑顔いっぱい」
成田山表参道での交流活動では、外国人と笑顔で会話をします。



「歌声いっぱい」
歌声集会では、保護者や地域の方々に歌声を披露します。



成田市立加良部小学校
(創立 昭和48年)

児童数 726人
学級数 25学級

成田ニュータウンの中心部に位置する本校は、近年発展著しい飯田町・江弁須地区及び再開発による大規模マンションが建ち並ぶニュータウンの加良部地区で学区を形成し、726名の児童が在籍する大規模校です。また、病気と闘いながら勉強している子どもたちのための院内学級が日赤病院内に設置されています。「《夢を持ち 未来を拓く》確かな学力を身に付け、心豊かで健康な子どもを育てる」の教育目標のもとに、学校・保護者・地域で児童を育てる環境づくりを進めています。また、今年度の経営重点を、「特別支援の充実を図り、一人一人に合ったいねいな支援を進める。」と定め、一人一人に合ったいねいな指導を心掛けています。平成25年度から千葉県小中学校体育連盟印旛支部及び成田市教育委員会の指定を受け、平成26年度には、体育科公開研究会を行いました。また、PTA組織とは別の組織である「加良部小おやじの会」が存在しており、青少年健全育成の観点から児童及び学校環境への支援を率先して行っています。



全校なかよし遠足・・異学年でペアを組み活動しました。



スナッグゴルフ校内予選・・千葉県大会の選手選考会を行いました。



成田市立橋賀台小学校
(創立 昭和50年)

児童数 237人
学級数 10学級

昭和50年に成田ニュータウンの南端にニュータウン第3の小学校として開校した本校は、橋賀台1～3丁目の集合・個人住宅に囲まれた静かな教育環境にあり、特に碧い芝生と200mトラックのある広いグラウンドが自慢です。『大きく 豊かに たくましく 生きる子どもの育成 -夢をかなえるための土台づくり-』を学校教育目標に、①「確かな学力」の育成 ②基本的人権の尊重 ③特別支援教育の充実 ④地域の教育資源及び学校評価の活用 ⑤清潔で美しい環境づくり を経営の重点としています。本年度は研究テーマを「読んで 書く力」を育てる国語科学習指導のあり方 ～言語活動の充実をめざして～とし、「よく考え、進んで学ぶ子」の育成に努めます。また、小中連携教育を推進しており、吾妻中学校区3校の児童・生徒、職員、PTAが、それぞれ連携及び交流を進めています。地域との連携も密接であり、各種の地域行事に多数の児童が参加をしたり、学校行事に地域の方に来ていただいたりしています。特に地域で開催される敬老会には金管部が招かれ、好評を頂いております。



敬老会での金管部の演奏



なんでも自慢発表会



成田市立新山小学校
(創立 昭和52年)

児童数 219人
学級数 11学級

成田ニュータウンの東南東に位置し、緑豊かな環境に恵まれ、四季折々の草花や樹木の間から、毎日元気な子どもたちの声が響き渡っている本校は、創立39年目を迎えます。

ワクワク ドキドキする学校「心豊かに、たくましく生きる、夢のある児童の育成」を学校目標に掲げ、全校児童による縦割り活動である「すすく班活動」や自然体験活動、地域の人材を活用した様々なふれあい活動、ボランティア活動等を通して、「明日行くのが楽しみ」と思えるような学校・心身ともに健全な児童の育成を目指し、全職員が一丸となって教育活動に取り組んでいます。

算数科の研究は4年目を迎え、発達の段階に応じた算数的活動を生かした授業づくりをめざしています。日々の教材・授業研究・生徒指導等の研鑽を積み、特別支援教育支援員や少人数学習推進教員と連携し、一人一人にきめ細かな個に応じた指導をすることで、確かな学力の育成に努めています。



保護者と一緒に活動した全校美化活動



一生懸命に走ったマラソン記録会



成田市立吾妻小学校
(創立 昭和53年)

児童数 708人
学級数 24学級

本校は、成田ニュータウンの北西部にあり、成田空港開港と同時に誕生して創立38年目を迎えました。学区周辺には多くの古墳が点在し、グラウンドにも4基の古墳があります。

本校の学校教育目標である「みんな仲良く たくましく」は、子どもたちの合言葉になっており、「思いやりのある子 喜んで働く子 (徳育)」「自ら学びとる子 (知育)」「健康でたくましい子 (体育)」を育てるため、元気なあいさつや勤労・生産活動、数学的思考力・表現力の育成、個に応じた運動や健康で安全な生活習慣の獲得に日々取り組んでいます。特に、一人一鉢運動や縦割り清掃、ゲストティーチャーとして様々な業種の方をお迎えするキャリア教育ワークショップ「人生の先輩から学ぼう」を通して、働く喜びや夢を育む取り組みをしています。また、子どもたちの安全を守るスクールガードあづまや吾妻地区青少年健全育成協議会等の地域の方々の活動も活発で、ふるさと吾妻に支えられた子どもたちが生き生きと活動しています。



「1年生の交通安全教室」
命を守るため安全な道路の横断を教えてくださいました。



「昔遊び体験学習」
地域の方々をお招きして教えてくださいました。



成田市立玉造小学校
(創立 昭和56年)

児童数 339人
学級数 15学級

本校の学区は、成田ニュータウン北部の玉造1丁目から4丁目、そして公津地区八代の一部から構成されています。保護者、地域ともに教育に関心が高く、本校の教育活動に大変協力的です。

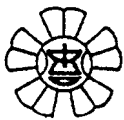
本校は教育目標「心豊かでたくましく生きる力を身につけた児童の育成」を掲げ、様々な教育活動に取り組んでいます。今年度のスローガンは「『チーム玉造』(切磋琢磨の教職員集団)で、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進する」です。「玉造小スタンダード」を核とした学習のしつけや家庭学習の習慣化、ドリルタイムや月例テストでの基礎基本の定着などに加え、言語活動の充実を図ることで児童の言葉にする力を育みます。また、情緒の通級指導教室「スマイル教室」を核として、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援の充実を図ります。児童が自分や友達を知り、認め、自他共に大切にする力の育成に取り組んでいます。



スマイル教室 (通級指導教室)



ドリルタイム



成田市立中台小学校
(創立 昭和57年)

児童数 157人
学級数 8学級

本校は本年度創立34年目となります。本年度の学校教育目標「かしこい子どもの育成」の具現化として「勉強する子(知)」「やさしい子(徳)」「元気な子(体)」を掲げ、子どもたちの「集中・ぬくもり・清潔・秩序」ある学校生活をめざし、保護者からも信頼される教職員であることに努めます。

一昨年度から3年間「福祉教育の充実」に取り組んでいます。中台地区の社会福祉協議会の協力のもと、小・中・高連携の福祉教育はどうあるべきかを追究しています。

本校を取り巻く環境は整っており、保護者・地域の方々の教育的な関心も高く、活発なPTA活動がなされ、防犯パトロールや読み聞かせのボランティアの皆さんからもお力添えをいただいています。このような中で、花や緑いっぱいの学校、朝はグラウンドで陸上の練習、校舎からはブラスバンドの音が鳴り響き、笑顔と元気なあいさつが交わされ、授業に集中する姿が見られる学校をめざします。



伝統の運動会でのマーチングバンド



地域をあげてのあいさつ運動



成田市立神宮寺小学校
(創立 昭和60年)

児童数 219人
学級数 11学級

創立30周年を迎えた本校は、成田ニュータウン北部にあり、近くには、成田スカイアクセスの成田湯川駅があります。保護者は全国各地から移り住んできていることから、新たなふるさとづくりをめざして「神宮寺祭り」「どんど焼き」などの文化活動や、各種スポーツ大会など独自の行事が定着してきました。保護者の教育的関心は高く、読み聞かせ・環境美化・リサイクル活動・防犯パトロール活動などのPTA活動も盛んです。また、隣接する成田北高校の先生や生徒によるおもしろ実験教室や、綱引き練習などの交流を行ったり、地域の学習ボランティアによる学習会「神宮寺小寺子屋」を毎朝開催したりなど、学校、家庭、地域との交流が盛んです。このような地域環境の中、「心豊かでたくましく実践力のある児童の育成」の学校教育目標のもと、「知・徳・体の調和」を図り「よく学び、よく遊べ、感動いっぱい」の神宮寺小」を合言葉に全教職員が力を合わせて学校教育活動に取り組んでいます。



「全校遠足」

5月に縦割り班で、楽しくレクをしながら1年生を迎え入れています。



「百人一首大会」

1月に学年を越えたグループで、百人一首大会を行っています。



成田市立平成小学校
(創立 平成2年)

児童数 523人
学級数 20学級

本校の学区は、成田市の南西に位置し、富里市・酒々井町と隣接した並木町・飯仲地区から成り立っています。国道51号線周辺に散在する古くからの街並みと、JR線南側（富里市側）に宅地造成の開発が進んだことによる、新しい地域が混在しています。

学校教育目標を「夢を抱き たくましく生きぬく人づくりをめざして ～知・徳・体の調和～」としました。いつでも夢や希望を抱きながら精一杯全力で頑張る児童の育成に向けて、全教職員が力を合わせて取り組んでいます。「全力でがんばる子」の育成を目指し、一生懸命努力すること、努力し続けて感動を味わわせることを目的に、運動部（陸上、ミニバス、綱引き）と合唱部の活動を通年行っています。また、子どもたちが夢希望を抱きつつ、健全に成長するために地域で子どもを育て守る体制づくり（「平成小学区ゆめ協議会」本年度6年目）が推進されています。



毎日行う運動部の朝練習



6年生は長野県戸狩で自然体験学習



成田市立本城小学校
(創立 平成5年)

児童数 328人
学級数 15学級

本城という地区名は、この地を開発して住み着いた人々が、自分たちの本当の根城にしようという願いがこめられて付けられたといわれています。学区住民は地域の学校としての意識が強く教育熱心であり、学校教育に対する強い期待を持ち、協力的です。『夢と希望を笑顔で語る子どもたち』を合言葉に、一人ひとりの児童が充実した楽しい学校生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域の連携を密にして、学校教育目標「たくましく 心豊かな子どもの育成」に努めています。

今年度は、(1)心の教育、規範意識の醸成及びあいさつの実践(2)具体的な学力向上策を講じるとともに読書活動や日記の奨励と家庭学習の充実(3)体力向上と基本的生活習慣の定着を重点事項として取り組んでいます。また、「さつまいも苗植え」「昔の遊び」「かるた大会」等の活動を通し、人間関係づくりを図るとともに、地域の人材を活用した体験的活動も取り入れて、思いやりにあふれた豊かな心の育成に力を入れています。更に学力向上策の一環として、始業前に本城小寺子屋(まきゼミ)を開設し、地域の方と共に基礎・基本の定着を図っています。



「かるた大会」全校縦割り班対抗(なかよし班)によるかるた大会では、毎年大いに盛り上がっています。



「昔遊び」1年生は、地域の敬老会の方々から、けん玉、あやとり、竹馬などの昔の遊びを教えて頂きました。



成田市立大須賀小学校
(創立 明治41年)

児童数 62人
学級数 7学級

本年度、本校は学校教育目標を「未来を切り開く 心豊かで かしこく たくましい児童の育成」と設定しました。学校経営の重点を1、「確かな学力の向上」2、「豊かな心を育む教育活動の推進」3、「体力の向上と健康・安全教育の推進」4、「生きる力を育む生徒指導・教育相談活動の推進」5、「地域とともに歩む学校の推進」と定め、「一人一人が輝く大須賀小学校」をめざして全校一丸となって取り組んでいます。本校学区は伊能、奈土地区を中心に9つのブロックで成り立ち、歴史的にも古く、特に伊能地区には歴史ある神社仏閣が点在しています。毎年4月中旬に行われる大須賀大神祭礼においては、本校の児童、保護者、地域住民が一体となり、地域の伝統文化を学校と連携しながら継承しようとする体制が構築されています。

本校は平成26・27年度、県教育委員会から「地域における食育指導推進事業拠点校」に指定されており、食教育にも意欲的に取り組んでいます。



地域の皆さんと取り組むグラウンドゴルフ教室



全校で取り組むたてわり交流活動



成田市立桜田小学校
(創立 昭和32年)

児童数 114人
学級数 8学級

本校は成田市の東端に位置し、大栄インターの近く国道51号沿いの三角屋根の時計台がある学校です。印旛郡内公立小学校では唯一制服のある学校です。本校では「心の美しい たくましい子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、学力向上・体力向上、そして豊かな心の育成に重点をおいて教育活動を行っています。

4年生から6年生は、毎日運動部や合唱部の課外練習に参加しています。昨年度は運動能力証の受賞率が市内でも上位で、合唱では初めて郡の音楽発表会に出場することができました。

また、地域の特別養護老人ホームとの交流や、社会福祉協議会との連携によるグラウンドゴルフ、注連縄作りなどの行事を通して、地域の方々との交流も深めています。

本年度も体育科の授業研究に力をいれ、「桜田モデル」の構築と、運動の楽しさや喜びを味わえるよう自ら考えたり工夫したりする力の育成を目指して研究を推進しています。



「運動会鼓笛パレード」
児童数も減少し今年度が最後です。



「特別養護老人ホーム『有楽苑』交流」
1年生による合唱の披露です。



成田市立前林小学校
(創立 明治8年)

児童数 61人
学級数 8学級

本校は、県道成田・小見川・鹿島港線沿線に位置し、学区の戸数は約450戸、大栄地区の中でも古村と言われる農村地帯であり、豊かな自然に恵まれた地域です。校門近くに天にも届くような大木「あららぎ」があります。正式名を広葉杉（こうようざん）というこの木は、本校のシンボルツリーであり、本校の歴史と共に子どもたちの伸びやかな成長を見守っています。

本校の教育目標は「夢をもち 心豊かに学ぶ 実践力のある人づくりをめざして 一かしく・やさしく・たくましく」です。特色ある教育としては、地域の施設や人材を生かした特別養護老人ホーム有楽苑、障害者施設アーアンドデイだいえいとの交流やもち米作り、全校縦割り活動などがあり、これらの体験活動を通して、子どもたちに豊かな心、実践する力などを育てています。

また、「知・徳・体」それぞれに具体的な目標を設定し、年間を通して共通実践を行うことで、教育課題の解決を図ることを目指しています。



芋掘り体験活動
(大きな芋がたくさんとれました。)



餅つき大会
(縦割り班で全員が餅つきをしました。)



成田市立津富浦小学校
(創立 明治6年)

児童数 120人
学級数 8学級

学校教育目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」のもと、国語を研究教科として位置づけ、朝の読書タイムや漢字・計算のチャレンジテスト、学習規律の徹底、算数科を中心としたTT授業等、学力向上に向けた取り組みに力を入れています。

また、児童会を中心とした集会や縦割り班活動、全校マラソン大会や縄跳び大会、国際交流活動等、児童が活躍できる場をできるだけ多く設定し、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に努めています。地域との交流も盛んで、学校支援ボランティアを活用した朝の読み聞かせや各教科・特別活動等における体験活動、社会福祉協議会の方の協力によるグラウンドゴルフ大会やしめ縄作りは、毎年児童も楽しみにしています。防犯対策として、保護者はパトロール組織「さざんか会」をつくり朝夕パトロールを実施して、児童の登下校を見守っています。校庭にはクヌギの大樹があり、「つぶうらくぬぎ」と呼んで大切にしています。



学校支援ボランティアの方による朝の読み聞かせ



地域の社会福祉協議会の方とのグラウンドゴルフ交流会



成田市立川上小学校
(創立 昭和32年)

児童数 133人
学級数 8学級

本校の学区は成田市の東部に位置し、成田国際空港の第2滑走路の東側になります。多良貝・川上・吉岡第二・吉岡第三・新田・一坪田・にっぽり・水の上の8地区からなり、畑や工場、倉庫、住宅が混在しています。空港の発展とともに畑作中心の農業地域から、工場や物流倉庫が増えるなど地域社会が大きく変貌しています。本校では、学校教育目標「明日のために、今を精いっぱい生きる子どもの育成(ともに

前進!かがやきっ子)」を達成するために、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導に心がけ、調和の取れた人間性豊かな児童を育てようと努めています。算数をはじめとする少人数指導、基礎学力を定着させるためのチャレンジタイムの充実、特別支援教育・生徒指導などの推進に力を入れています。また、本物の竹を使う竹馬作りや竹馬大会、餅つき大会、昔の遊びなどの地域との交流を深める行事を実施するなど、地域の皆さんとともに歩む学校づくりをしています。



大運動会
～全校一丸となって取り組む鼓笛隊～



竹馬大会
～よーいドンで競走だ!～



成田市立公津の杜小学校
(創立 平成18年)

児童数 791人
学級数 26学級

開校10年目となる本校は、学校教育目標に『未来を拓く心豊かでたくましい児童の育成』を掲げています。目指す児童像として「自分をみがく子(自立)」「自分も他人も大切にする子(共生)」を位置づけ、全職員が一丸となって、地域に信頼される学校づくりを目指しています。

本校は昨年度、ユネスコスクールの認定を受けました。引き続き今年度もESD教育の実践研究を行っていきます。「今、そして未来を考える子 ユネスコスクールの推進をとおして」を研究テーマに、次世代を担う子どもたちに日々の学習の中で、「未来の社会はどうあるべきか」「よりよくするためには、今どうしたらよいか」をしっかりと考えさせています。今年度は特に、『「つながり」を大切にした教育』を実践してまいります。「人」をつなぐ、「まわり」をつなぐ、「時間」をつなぐの3つの「つながり」を特に大切にすることで、持続可能な発展のための教育を具現化していきたいと考えます。



ユネスコ集会のようす
～成田ユネスコ協会から認定プレートの授与～



国際交流活動のようす
～英語によるコミュニケーションを通して世界がつながる～



成田市立美郷台小学校
(創立 平成19年)

児童数 346人
学級数 14学級

本校では、「かしこく・やさしく・たくましく～夢をかなえる土台づくり～」を学校教育目標に掲げ、力いっぱい学ぶ子、思いやりがあり助け合う子、丈夫で、がんばり抜く子の育成に努めています。「かしこく」では、ドリルタイムを設け、学習の基盤となる「読み、書き、計算」の学力の定着を図るとともに、体験的な学習をする機会を増やし、問題解決的な学習を推進しています。「やさしく」では、年間を通じて、あいさつ運動や縦割り活動、親切運動に取り組み、豊かな人間関係づくりに努めています。「たくましく」では、体育科の授業を充実させるとともに、30分間の昼休みの中で、外遊びを奨励し、体力の向上を図っています。また、週に1回ロング昼休みを設け、児童が思いっきり遊ぶ時間を設けています。地域の田を借りての米づくり体験や福祉体験、昔遊び活動で、地域の方々との交流を深めています。



米づくり体験



昔遊び活動



成田市立成田中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 532人
学級数 19学級

「豊かな心を持ち、正しい判断力、実践力をもつたくましい生徒の育成～自立と共生を目指して～」を学校教育目標に掲げ、成田市内で最も歴史のある中学校として伝統を継承しつつ、生徒会を中心に生徒活動の充実と学力の向上に取り組んでいます。美術の授業の一環として成田山新勝寺の境内の写生会やボランティア活動として太鼓祭り、弦祭りに参加して郷土を愛する気持ちを育てています。生徒会は、「進化する成中 ～服装・態度・いじめ0～」を掲げ、主体的に生徒自らより生活しやすい学校環境にしようと各委員会が活動しています。授業では、「わかる授業」「楽しい授業」のために生徒の視点に立った授業の手立てや約束事を徹底し、学力向上に取り組んでいます。上記を中心に生徒の良さや頑張りをしっかりと認め、勇気づける取り組みを継続するとともに、一人一人の生徒を職員全員で見守り、指導していく体制を構築しています。



生徒会主催の「いじめゼロ」集会

いじめ撲滅宣言

1. 私たち成中生は、いじめや差別を絶対に許しません！
2. 私たち成中生は、思いやりの心を持って、お互いを尊重し合いながら行動します！
3. 私たち成中生は、正しいことを正しいと言える勇気を持ちます！
4. 私たち成中生は、協力・信頼し合える仲間を作ります！
5. 私たち成中生は、みんなが仲良く楽しく過ごせる仲間を作ります！

生徒全員で採択した、生徒がつくった「いじめ撲滅宣言」



成田市立遠山中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 359人
学級数 15学級

本校は、成田国際空港に最も近い中学校です。また、学校周辺は、昔からの純農村地帯と振興住宅地域とが融合した地域です。学区が広範囲であり、9割以上の生徒が自転車で通学しています。交通事故が懸念されるため、交通安全教室や自転車点検等に学校全体で取り組み、事故の未然防止に努めています。また、開かれた学校づくりに努め、各学期毎に学校公開日を定め、授業や行事の参観を通して、生徒の成長を見守っていただいています。秋には体育祭、合唱コンクール、年度末の予餞会など生徒にとって充実した行事が続きます。遠山中学区の小学校3校と連携し、生徒指導研修会、ブロック研修会、相互授業参観等を行い、日頃の教育活動に生かしています。また、生徒会活動では「成田いちあったかい学校を創ろう」を合言葉に生徒の自主的活動を推進し、チャレンジ精神を育み、夢の実現に向けて教職員が支援をしています。



体育祭の全校演技「ソーラン節」のフィニッシュ



歌うことが好きな有志の集まり「歌い隊」の発表風景



成田市立久住中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 74人
学級数 5学級

学区は成田市中央部に位置し、その西部に水田地帯、東部に畑作地帯が広がっています。兼業農家が多く、大部分は三世代家族です。学区が広いため、ほとんどの生徒が自転車通学者です。印旛地区の中学校では1～2番目に生徒数の少ない小規模校ですが、久住駅前の宅地開発に伴い、今後、生徒数の増加が見込まれます。また、23年度の学区小学校の統合によって一小一中学区となり、今まで以上に小中連携の強化に努めています。

本校は、『小規模校の特性を生かし、全教育活動を通して個を生かすことに徹する』を重点目標に、下記の3点を柱に特色ある学校づくりを進めています。

1. 個に応じた学習や補充的な学習、少人数学習、体験学習などのきめ細かな指導を通して、基礎・基本の徹底を図る。
2. 総合的な学習の時間の充実で、主体的に活動する能力の育成を図る。
3. 「職場訪問」、「職場体験」などを通して地域愛を育て、自らの生き方を考えられる生徒を育てる。



1年生のマナー講座の写真



「総合的な学習の時間」の『伝承芸能』
受講者による「久住フェスタ」での発表



成田市立西中学校
(創立 昭和39年)

生徒数 651人
学級数 22学級

西中学校は白亜の大きな校舎、広い体育館、陸上競技場など恵まれた施設・設備のもと『文武両道 熱き西中魂』『一生懸命がかっこいい』をスローガンに掲げ、明るく元気に前向きに活動に励んでいます。分離後の西中は徐々に生徒数が増え、本年度は全校で651名となりました。

学習面では「学力の向上」を目標に、国語、数学、英語を中心に、10分間のドリルタイムを毎日位置づけています。また、1年の英語科で少人数学習、全学年の数学でTTでの授業を行っています。部活動については積極的に取り組む生徒が多いため、教育課程を工夫し、年間を通して活動の時間に配慮しています。学校と家庭との連携については、より親密な関係を構築するために家庭訪問を実施(5月)したり、PTA主催で教師と保護者の語らいの場「西中の夕べ」を行ったり(8月)しています。本年度も本校の教育目標である「たくましく生きる、心豊かな生徒の育成」の具現化に向け、地域・家庭・学校が一体となった教育活動をさらに推進して参ります。



福祉体験学習では、社会福祉協議会の方に講師になっていただき、車いす体験などをしました。



テスト前には放課後学習教室があり、自由参加ですが、たくさんの生徒が参加しています。



成田市立中台中学校
(創立 昭和48年)

生徒数 286人
学級数 11学級

本校の生徒は、成田ニュータウンの4つの小学校区（向台・加良部・新山・中台小学校）から通学しています。自ら学び、自ら鍛え、たくましく生きる生徒の育成をめざし日々教育活動に取り組んでいます。本年度は92名の新入生を迎え、全校生徒286名が自主的に取り組むことを目標に、学習に部活動に毎日頑張っています。学習の面では、26年度英語検定で学校が団体で優秀賞を受賞。また、漢字検定等の受検者も増加しました。学校行事へ積極的に取り組む姿がみられ体育祭、けやき祭などの行事では達成感が得られています。また、福祉教育にも熱を入れ、中台小・向台小・成田国際高校と中台地区社会福祉協議会と連携し、ペットボトルキャップ収集やあいさつ運動、敬老会への参加や街頭募金活動に取り組んでいます。生徒数が減少する中、部活動でも活躍する生徒が多く、県大会や関東大会に出場した部活動もあります。明るく活動的な本校の生徒たちは、自分の目標に向かって毎日の努力を大切に、すばらしい成果を上げています。



ボランティア活動に積極的に取り組む生徒



「あいさつ ふれあい おもいやり」の精神であいさつ運動に取り組む



成田市立吾妻中学校
(創立 昭和53年)

生徒数 228人
学級数 10学級

本校は成田ニュータウン地区の東に昭和53年、開校しました。学区は橋台地区、吾妻地区、はなのき台地区及び隣接する船形地区の一部からなります。空港関連業種を中心に全国からの転入者が多く、開校から38年を迎えます。緑多く、自然環境に恵まれ、春には校地を取り囲む100本をこえる八重桜が美しい花を咲かせます。「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身に付けた生徒の育成」を学校目標とし、環境教育や国際理解教育にも力が入れています。さらに学校には、「挨拶は自分と他との心の扉を開きます」「清掃は環境と自分を美しくします」「時間厳守は自分と他の信頼を結びます」の3つの約束があります。昨年度から、中学校と学区の小学校が、義務教育9年間を通して生活面や学習面について連携していく学区小中学校連携がスタートしました。中学校の先生が小学校で授業をしたり、生徒代表が小学校で学校説明会を行い、小学生は、中学校の学校行事に参加したりするなどの交流を行っています。



美しい歌声が、ホールいっぱいに響く合唱コンクール



地域の事業所で職場体験学習



成田市立玉造中学校
(創立 昭和60年)

生徒数 279人
学級数 11学級

本校は昨年度創立30周年を迎え、小泉市長をはじめ多くの卒業生や地域の方々に参加していただき、記念式典を行いました。入学してくる生徒は、玉造小、神宮寺小、八生小の3校で、玉造小及び神宮寺小出身者が9割を占めています。現在は3校とも小規模校となっていますが、入学後は互いによく交流しあっています。現在学校では「当たり前前の方が当たり前前ができる」をスローガンに、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを目指し、主に次の事柄に取り組んでいます。

- ・基礎・基本的学習内容の定着をより図るため、ボーナス・スタディ・タイムを展開しています。
- ・基礎基本の定着を目指し、TTや少人数指導を推進しています。
- ・本に親しみ、視野を広げ学習意欲を高めるために、朝の読書に取り組んでいます。
- ・ボランティア活動など、地域の活動に積極的に参加しています。



本校OB 落語家 三遊亭金朝師匠による
記念公演



地域敬老会でのボランティア活動



成田市立大栄中学校
(創立 昭和58年)

生徒数 259人
学級数 11学級

本校は、成田市の東部に位置しており、学区の中央に大須賀川が流れ、畑作地帯が水田を取り巻くような自然豊かな環境にあります。学区は大須賀・桜田・前林・津富浦・川上の5つからなっており、通学範囲が広範囲なため、多くの生徒が自転車通学をしています。学校経営理念を「人としての生き方を大切にする教育」と定め、今年度、新たに学校教育目標を「確かな学力 豊かな感性 強い体をもち、21世紀をたくましく生きる生徒の育成」として、教育活動を展開しています。重点目標として「確かな学力の向上」「豊かな感性を育む教育の充実」「体力向上・健康安全教育の充実」をめざした教育活動を推進すると共に、「小学校との連携を図り、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実」をめざし、大栄地区小中連携推進協議会で定めた『みんなの約束』の達成に取り組めます。また、『一生懸命 日本一』をスローガンとして、生徒一人ひとりが、何事にも一生懸命に取り組むことのできる学校づくりを推進します。



自転車安全教室のようす



体育祭の応援合戦のようす



成田市立公津の杜中学校
(創立 平成25年)

生徒数 543人
学級数 18学級

公津の杜中学校自慢の、紺色マイクロチェックの制服に全校生徒が身を包み、開校3年目の公津の杜中学校がスタートしました。西中学校から分離して3年目、ついに生粋の公津の杜中生が揃ったわけです。今年度の3年生は、この学校で3年間を過ごして卒業していくことになります。心の底から、公津の杜中学校に誇りを持って卒業していくことになることなのでしょう。今年度は、節目の1年間になりそうです。本校には、新時代の教育の場にふさわしい最新の施設・設備が整えられています。この夢と希望に満ちた様々な工夫がされている校舎で学校生活を送る生徒達は、自分達の手で新たな歴史と伝統を作ろうと、目を輝かせ前向きに学校生活を送っています。整然とした朝読書から一日が始まり、授業に落ち着いて取り組み、清掃活動を頑張る生徒の姿が、公津の杜中学校にはあります。そして、創部3年目となる各部活動も軌道に乗り始め、チームワークを大切に、目標に向けて日々練習に励んでいるところです。



入学式では、代表生徒が「信頼し合える仲間を作り、感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に過ごします。」と、誓いの言葉を述べました。



クラス替えをしても、心機一転、積極的に授業に取り組む2年生の様子(2年生の数学の授業の様子から)



小中一貫教育校 下総みどり学園
【成田市立下総小学校、成田市立下総中学校】
(創立 平成26年)

児童生徒数 399人
学級数 23学級

本校は、昨年4月に、施設一体型の小中一貫教育校として誕生しました。義務教育9年間を見通し、途切れることのない一貫した指導方針のもと、一人一人の子どもが着実に学力を身につけ、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長していけるよう連続した学びを実践しています。そのために、9年間を、前期(1~4学年)、中期(5~7学年)、後期(8・9学年)の3つのブロックに分け、それぞれの発達段階に応じた学習面・生活面の目標を設定して教育活動を行っております。卒業式・体育祭・文化祭など多くの行事は全校で取り組んでいます。また、毎日の清掃活動も縦割り班で行うなど、多くの教育活動の中で異学年交流を図り、上級生は自己有用感を養い、下級生は高い目標をもって生活する様子が見られます。これからも下総地区唯一の義務教育学校として、地域とともに夢と希望に向かってたくましく生きる子どもの育成を行います。



図書委員会による読み聞かせ活動



体育祭(1年から9年まで揃って入場)

成田市立大栄幼稚園
(創立 平成8年)

園児数 155人
学級数 6学級

本園は、成田市東部に位置し、大須賀川沿いの水田地帯を望む高台にあり、自然豊かな環境に恵まれ、大栄保育園や大栄B&G海洋センター・ナスパスタジアム等の公共施設も隣接しています。園児は、大栄地区のみならず市内の他の地域からも通園しており、広々とした園庭で、日々元気いっぱい活動しています。また、園周辺の地域を利用したり、緑豊かな自然との触れ合いを大切にされた保育を実施しています。「たくましく心豊かに生きる子どもの育成」を教育目標に、「明るく元気な子ども・自分のことは自分でする子ども・友だちとなかよく遊ぶ子ども・意欲がありねばり強い子ども」の育成に努めています。

昨年度から3歳児保育が始まりました。今年度は、3歳児2クラス47名、4歳児2クラス9名、5歳児2クラス2名、58名の新入園児を迎え6クラス155名でスタートしました。保護者と連携を取りながら、園児が健やかに明るく元気に過ごせるように職員一同、より良い幼児教育に日々努めています。



『じゃがいも掘り』「大きくなったかな!？」カー杯で掘っているジャガイモ、「何ができるかな!？」後日、料理をすることを楽しみにしています。



『砂遊び』園児同士協力しての砂遊びです。汚れることも気にせず、集中して活動しています。

5 学校給食センター

学校給食は、教育活動の一環として定着し、児童生徒の心身の健全な発達に資しています。

現在は本所、玉造分所、下総分所、大栄分所、公津の杜中学校学校給食共同調理場、本城小学校学校給食共同調理場にて給食を調理しています。

(1) 給食指導の充実



栄養士による食の指導

成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や、望ましい食習慣が身に付くよう給食指導を充実します。

また、子どもを生活習慣病から守るため、家庭に対して、毎朝きちんと朝食をとり、脂肪や塩分をおさえた食事をし、野菜などで食物繊維をしっかりとることなどの指導にも努めます。

(2) 献立の充実

イ. 学校給食の食事内容が、衛生的かつ安全であることはもとより、栄養バランスのとれた魅力あるものとなるよう改善に努めています。

また、食事は調理後できるだけ短時間に適温で供食できるよう、十分な配慮を行います。

ロ. 献立作成及び調理にあたっては、児童生徒のし好の偏りをなくし、多様な食事内容に親しむことができるよう食品の組み合わせや調理方法に努めます。

ハ. 学校給食の献立作成にあたっては、食材の種類を幅広く求め、また、成田産の食材を取り入れた食事内容の充実及び摂取栄養量の確保に努めます。

二. 成田産食材の使用として、主食となる米飯はすべて成田産コシヒカリを使用し、野菜についてもできるだけ成田産を使用するよう努めています。

(3) 衛生管理の推進

児童生徒を対象としている学校給食は、特に衛生管理（食中毒等の事故防止）に万全を期さなければなりません。そのため、学校給食センターでは、栄養管理、衛生管理及び指導面の充実に努めています。

また、保健所の指導協力のもとに職員の健康診断等を行うとともに、施設設備の点検、整理、整頓に努めています。

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準（文部科学省）

区 分	基 準 値			
	児童（6歳～7歳）の場合	児童（8歳～9歳）の場合	児童（10歳～11歳）の場合	生徒（12歳～14歳）の場合
エネルギー（kcal）	530	640	750	820
たんぱく質（g）	20	24	28	30
脂 質（g）	16～26	18～32	22～38	25～40
脂 質（％）	学校給食による摂取エネルギー全体の25％から30％			
ナトリウム（食塩相当量）（g）	2未満	2.5未満	2.5未満	3未満
カルシウム（mg）	300	350	400	450
鉄（mg）	2	3	4	4
ビタミンA（μg RE）	150	170	200	300
ビタミンB1（mg）	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2（mg）	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC（mg）	20	20	25	35
食物繊維（g）	4	5	6	6.5

- 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。
 マグネシウム……児童（6歳～7歳）70mg、児童（8歳～9歳）80mg、
 児童（10歳～11歳）110mg、生徒（12歳～14歳）140mg
 亜 鉛……児童（6歳～7歳）2mg、児童（8歳～9歳）2mg、
 児童（10歳～11歳）3mg、生徒（12歳～14歳）3mg
- この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

※1 範 囲 示した値の内に納めることが望ましい範囲

（4）食材の放射能対策

食材の放射能対策につきましては、今後も生鮮食材を中心とする調理前の食材のサンプリング検査を実施してまいります。なお測定結果につきましては、毎月配布する献立表の裏面に掲載するとともに、ホームページにて随時公表していきます。



食品放射能測定器（玉造分所）

食品衛生法に基づく放射性セシウムの規制値（Cs-134 と Cs-137 の合計値）	
飲 料 水	10
牛 乳	50
一 般 食 品	100
乳 児 用 食 品	50

（単位：ベクレル /Kg）

(5) 給食施設の整備

学校給食センター本所、玉造分所の老朽化に伴う施設の再整備にあたり、児童生徒にとってよりよい給食環境の構築を図るため、平成21年度において施設整備基本計画を、平成22年度において施設整備実施計画を策定しました。この実施計画に基づいてアレルギー対応食の提供、温かい給食の提供及び、食育の推進が可能となる、親子方式（※2）により施設の整備を進めています。

平成26年4月には、親子方式による2番目の施設となる本城小学校学校給食共同調理場の運用が開始されました。

本年度は、公津の杜小学校学校給食共同調理場の建設工事を行うとともに、美郷台小学校学校給食共同調理場の実施設計を行います。

※2 敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、近隣のいくつかの学校に配食する方式



本城小学校学校給食共同調理場

生涯学習

1 施策の概要

市民が生涯の各期において自己啓発を続け、主体的にかつ豊かに生き、お互いの連帯感を高めていく地域社会づくりを目指し、各種教育機関・組織・団体との幅広い連携のもとに、市民の生涯に渡る自主的な学習活動を支援します。

(1) 生涯学習の推進

① 国際市民フェスティバル

国際市民フェスティバルは、国際空港都市としての成田市の特徴を生かして、行政と市民団体等とが連携を図りながら、市民と外国人との様々な文化交流を促進するため開催します。

期日：平成27年10月4日（日）

場所：成田国際文化会館



ワールドコスチュームフェア



体験コーナーも充実

② 生涯学習推進協議会

生涯学習推進協議会は、平成23年度にスタートした第2次成田市生涯学習推進計画及び成田市生涯スポーツマスタープランに基づいた諸施策について、広く市民の意見及び要望を取り入れ、効果的な施策の展開を図るため設置しています。

③ 社会教育委員会

社会教育委員の職務には、青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（社会教育）に関する計画の立案、教育委員会の諮問に対する意見陳述、その他の調査研究などがあります。

④ 成田市まなび&ボランティアサイト (<http://www.genki365.com/narita/>)

インターネット上で市民の様々な活動・活動運営を支援するシステムです。コミュニティ活動、地域活動、福祉、子育て、学習、講座など、市内で行われる活動に関して、イベントやまなび機会、ボランティア募集、各種団体、各種人材など、様々な情報を行政から提供するばかりでなく、参加団体等からも情報が発信できるなど、交流窓口にもなるサイトです。

○このサイトでできること

[何かの活動に参加したい市民は]

- ・ イベント、ボランティア募集、各種団体の活動等の情報検索、閲覧

[既に何らかの活動をしている市民は]

- ・ イベント等の指導者や講師の検索、閲覧
- ・ 団体の基本情報として活動内容、活動日、会員募集、連絡先等を掲載
- ・ 団体に開催するイベント等のボランティア等の支援者募集や参加者の募集を掲載
- ・ 団体の活動の状況を広く知ってもらうため活動報告や活動写真等を掲載
- ・ 人材情報として自分が活動できる特技（指導内容・ボランティア内容、活動可能日、連絡先など）の掲載

○登録されている情報について

- ・ 個人情報保護の観点から、個人情報に関する部分については特に本人の同意をいただき公開します。
- ・ 掲載されている各種情報は、希望する人材や団体からの申し込みにより登録されており、指導能力、ボランティア能力、公共性、公益性、情報の正しさ等を公的に保証するものではありません。



まなび&ボランティアサイトトップページ

(2) 家庭教育の充実

○子育て学習講座・思春期子育て講座

各小学校で行う就学時健康診断や入学説明会等の機会に、「子育て学習講座」を開設します。子どもの発達段階に合わせ、家庭教育に対する関心を高めたり、親同士の親睦を深めたりしながら家庭教育の充実を目指します。また各中学校では「思春期子育て講座」を開設し、多感な時期の子どもたちへの支援の仕方を学びます。



子育て学習講座

(3) 成人教育の充実

① 生涯学習講演会

一般市民が誰でも参加できる学習機会として、生涯学習講演会を開催します。



生涯学習講演会

② 高等学校等開放講座

学校が持つ優れた人材と施設・設備を地域に開放し、市民に対し生活上、職業上必要な知識と技術及び一般教養に関する学習機会を提供することを目的に開催しており、多様化・専門化する市民の学習ニーズに応えています。

平成27年度も、学校の特徴を生かした講座の開設に努めます。

- 成田西陵高等学校 : 「生活に潤いと新しい発見をA」、「生活に潤いと新しい発見をB」
- 成田北高等学校 : 「一から作る金属根付け」
- 成田国際高等学校 : 「初級英語講座」、「中級英語講座」
- 成田高等学校 : 「簡単なところから学ぶパソコン・情報講座」
「ベートーヴェン第九を歌おう」
- 成田国際福祉専門学校 : 「家庭でできる介護と高齢者の食事の作り方」、「初級簿記」

(4) 青少年教育の充実

① 青少年問題協議会

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策の適切な実施を図るため、関係行政機関と連絡調整を行うとともに、目的達成に必要な事項を調査審議しています。

② 青少年健全育成事業

ア、青少年相談員連絡協議会

青少年活動の促進を図るとともに、社会環境の浄化、青少年の体位体力の向上と健全な家庭づくりを推進し、青少年の非行防止のために率先してボランティア活動を行うことを目的に各種事業を推進しています。

○第25回オールナイトハイク 7月31日(金)～8月1日(土)

○第28回青少年交流綱引き大会 平成28年2月14日(日)



やった! ゴールだ ～オールナイトハイク～



ファイト! ～青少年交流綱引き大会～

イ、青少年育成市民会議

市内15地区の青少年健全育成協議会を統括して、青少年問題に関する共通理解を深め、地域における関係機関・団体が連絡協調を図りながら、効果的な青少年の健全育成を推進するための事業を開催するとともに、市内関係団体への支援を行っています。

○青少年音楽祭 10月7日(水)

③ 青少年感動芸術劇場

青少年の情操教育の一環として、良質な芸術文化鑑賞の機会を提供し、青少年の資質の向上を図ることを目的に開催しています。

○「井上あずみ&ゆーゆ

クリスマスファミリーコンサート」

12月13日(日) 小学生対象

会場：成田国際文化会館

○民話芸術座「火の鳥～羽衣編～」

11月19日(木)～27日(金)

中学生対象

会場：市内各中学校(体育館)



はいだしょうこさん・恵畑ゆうさんと
市内小学校合唱部のジョイント

④ 成人式

平成28年1月10日(日)に新成人の門出を祝う行事を開催します。

会場：成田国際空港



成人式実行委員会風景



なつかしい友と ～成人式のひとコマ～

⑤ 国際こども絵画交流展2015

広く世界各地の“こどもたち”と、成田市内の“こどもたち”の絵画作品を紹介することにより、21世紀を担うこどもたちの夢と創造力を育み、絵画を通じてお互いの生活や文化について、

理解を深め合うことを目的に開催します。

会期：11月14日（土）～11月23日（月・祝）

会場：成田市文化芸術センター スカイトウンギャラリー

⑥ 子どもセンター

子どもたちの地域における様々な体験活動の充実と、家庭教育支援体制の整備を図るため、市民ボランティアが情報を収集し、情報誌「なりきち」の発行を通して情報の提供を行います。また、子どもセンター運営員がホームページを作成し、様々な体験活動の情報発信を行います。

子どもセンター開設日：水曜日・土曜日 10時～12時 13時～16時

場所：子ども館1階相談室

⑦ 成田わくわくひろば

（子どもの居場所づくり推進事業）

体験活動や異年齢交流活動等を通じて、子どもたちの生きる力や豊かな心を育むことを目的に、地域の青少年団体、関係者が主体的に企画、実施する事業です。

本年度は12地区が実施し、地区ごとに地域の実情に応じた多彩な魅力あるプログラムに取り組みます。また、地区の交流を目的に全体事業を実施します。

合同事業① 10月～12月

合同事業② 平成28年3月



わくわくディキャンプ

⑧ ヤングスペースなりた

青少年の放課後・休日における交流体験活動を支援することを目的に、平成14年2月から、成田国際文化会館を拠点として様々な取り組みを行っています。

休日開催の「チャレンジスペース」は、料理・陶芸・木工作・油絵・水彩画・絵手紙のほか、キャンプ・カヌー体験など豊富なメニューを実施します。

⑨ ジュニアリーダー養成

小学校4～6年生を対象に、集団の中で、様々な「遊び」や「体験」を通して、子ども会活動等の企画・立案・運営を担うリーダーを育成します。

○ジュニアリーダー養成研修会

実施日：平成28年3月5日（土）



沖ノ島無人島探検

内 容：海辺の自然体験、グループ活動など

(5) 社会教育関係団体活動の支援

地域社会の活性化と地域の教育力の向上を図るため、市民自身が自主的に学習活動を実践し、その成果を地域に還元していくことは、地域づくりに重要な役割を果たしています。

そこで、社会教育関係団体の育成と充実を図り、市民生活に密着した地域活動の推進に努めています。

(主な支援団体)

- 成田市PTA連絡協議会 ○成田ユネスコ協会 ○成田市青少年の輪を育てる会
- 成田市子ども会連絡会 ○無形民俗文化財保存団体連絡協議会
- 成田市文化団体連絡協議会 ○成田市文化財保護協会

(6) 文化の振興

① 文化財保護事業

市内に所在する文化財のうち、重要なものを指定文化財（国指定、県指定、市指定）として保護・保存に努めるとともに、無形民俗文化財については、後継者の育成を図るよう管理団体との連携を推進しています。

国指定重要文化財の南羽鳥中岫1遺跡土坑から出土した人頭形土製品・土器などについては、千葉県立房総のむら（風土記の丘資料館）へ寄託し、レプリカを下総歴史民俗資料館で展示を行い、広く文化財の啓発にも努めています。

埋蔵文化財については、収蔵管理の充実を図るほか、土器等の補修・修復を行うとともに、開発行為等に係る保護のための調整に万全を期します。

② 文化財啓発事業

市内及び県内の様々な文化財に関する理解を深めるために、各種事業を実施しています。

- 歴史講演会（年2回） ○史跡めぐり（年3回）
- 博物館めぐり（年2回） ○各種出版事業



歴史講演会



史跡めぐり

③ 三里塚御料牧場記念館

日本の畜産振興に輝かしい実績を残した旧宮内庁御料牧場の在りし日の姿を再現し、佐倉七牧や牧場の歴史的遺産を継承・啓発するための記念館です。

記念館の管理運営を適切に行うとともに、関係資料の収集保管にも努めています。

④ 下総歴史民俗資料館

市内の歴史資料や民俗資料を展示しています。日本で最初に発掘されたナウマンゾウの頭骨化石をはじめとする様々な歴史資料や農具を中心とした民俗資料など、有史以前から現代に至る北総地区の生活のあゆみがわかる資料館です。



三里塚御料牧場記念館



下総歴史民俗資料館

⑤ 市民文化祭

市民が日ごろ実践している芸術文化活動の成果を発表する機会の充実を図るため、誰もが参加できる成田市民文化祭を開催しています。

○日程：10月2日（金）～11月3日（火・祝）

⑥ 中学生の文化部活動活性化事業

中学生に文化部活動に参加する喜びと芸術文化を体験する機会の充実を図るため、外部指導者を派遣し、実技指導を通じて文化部活動の活性化を推進します。

○対象：市内中学校の文化部活動

⑦ ふれあいコンサート

開かれた市役所、親しまれる市役所となることを目的として、平成23年度から行っています。毎月1回、市役所1階市民ロビーや議場にて開催します。

(7) 平成27年度 生涯学習課事業計画

項目	事業名や実施団体等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
青少年教育の充実	団体活動	青少年育成 市民会	各地区青少年健全育成協議会の活動											
		青少年相談員 連絡協議会	★7/31～8/1 オールナイトハイク（中学生対象） 2/14 青少年交流綱引き大会（小学生対象）★											
		子ども会連絡会	★7/18 親子わくわく体験(地引き綱) ★10/4 子ども会まつり ★8/25 親子わくわく体験(成田国際空港)											
		青少年の輪を 育てる会	★8/23 高校生・勤労青少年バレーボール大会											
	リーダー養成 事業	3/5 ジュニアリーダー養成研修会★												
	文化芸術活動	青少年 感動芸術劇場	12/13 「井上あずみ&ゆーゆー クリスマスファミリーコンサート」★ 11/19～27 「火の鳥～羽衣編～」(演劇公演)★											
		青少年音楽祭	★10/7 青少年音楽祭											
	社会参加	ヤングスペース	陶芸、油絵、水彩画、料理教室等チャレンジスペース											
		子どもセンター	体験学習機会の情報提供・自主事業 ★情報紙発行 ★情報紙発行 ★情報紙発行 ★情報紙発行											
		成田わくわくひろば (子どもの居場所づくり推進事業)	キャンプや異年齢集団の交流など、市内地区運営委員会による子どもの体験学習や居場所づくりの推進 10～12月 合同事業★ 3月 合同事業★											
学習機会の充実	家庭教育	家庭教育学級開催事業	★6/20 地域教育力向上講演会 各学校・園で家庭教育学級開催 2/9 合同閉鎖式・講演会★ ★4/23 運営委員会議											
		子育て講座 思春期子育て講座	就学時健康診断や入学説明会時に各小・中学校で開催											
	青少年教育	放課後子ども教室 開催事業	遠山小・豊住小・美郷台小・下総小・八生小・加良部小で放課後子ども教室開催											
	成人教育	成田西陵高等学校 開放講座	★9/5～11/7 生活に潤いと新しい発見をA（全3回） ★10/3～11/17 生活に潤いと新しい発見をB（全3回）											
		成田北高等学校 開放講座	★9/24～2/4 一から作る金属根付け											
成田国際高等学校 開放講座		★9/12～10/10 初級英語講座（全5回） ★9/12～10/10 中級英語講座（全5回）												
成田高等学校 開放講座		★9/26～10/24 ベートーヴェン第九を歌おう（全5回） ★9/26～10/24 簡単などころから学ぶパソコン・情報講座（全5回）												
成田国際福祉専門 学校開放講座		★8/17～9/5家庭でできる介護と高齢者の食事の作り方（全5回） 1/16～2/20 初級簿記（全6回）★												

項目	事業名や実施団体等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学習機会の充実	成人教育 明治大学・成田社会人大学		★5/16～11/28 各課程全10回のうち1回ずつ公開講座 <国際社会課程>21世紀世界の社会と経済 ～深まる混沌と確執～ <地域社会課程>人口減少社会における諸課題を考える ～現状の分析と対応策について～ <緑地環境課程>消費者ニーズに応える植物・食料生産とは ～安心・安全・安定・低価格への取り組み～											
	高齢者教育 生涯大学院		★5/9～3/12 3学年制 教養講座25回程度 専門講座15回（書道・陶芸・園芸・油絵・音楽・体操から選択）											
地域社会教育活動の充実	P T A 連絡協議会		★5/9 定期総会・教育懇談会 ★9/2 防災研修会 ★10/29 視察研修 ★6/20 運営研修会・地域教育力向上講演会 ★6/13 市PTAバレーボール大会 ★12/19 教養研修											
	成田ユネスコ協会		世界寺子屋運動<アジア支援プロジェクトへの参加>・世界遺産活動 国際交流事業「日本の香りをあなたに」 ★8/2～8/8「成田の地域遺産写真展・ユネスコと日本展」 ★6/5 ユネスコスクール研修会											
文化振興と文化財保護	国際市民フェスティバル								★10/4	国際文化会館				
	市民文化祭							★10/2～11/3	市民文化祭					
	国際こども絵画交流展								11/14～11/23	国際こども絵画交流展2015				
	ふれあいコンサート	★4/23	★5/28	★6/18	★7/23	★8/27	★9/24	★10/22	★11/26	★12/24	★1/28	★2/25	★3/24	
	文化財周知啓発 史跡めぐり 博物館めぐり			★6/6 ★6/13 ★6/20						★11/14	秋の博物館めぐり			
	歴史講演会		★5/23	春の歴史講演会						★12/5	秋の歴史講演会			
	三里塚御料牧場記念館 下総歴史民俗資料館		午前9時～午後4時30分（月曜・年末年始休館）入場無料											

(8) 生涯スポーツの振興

スポーツを楽しむ、健康や体力づくりを行う、スポーツを通じて交流を進める、自己実現を図るなどスポーツを行う目的はさまざまです。

市民一人一人が自らの価値観に基づいて、主体的にスポーツを行い、スポーツを通じて健康づくりやコミュニティの育成を図り、住民相互の連帯感を高めることのできる、「まち」を目指します。

スポーツ施設や情報提供の充実、指導者の養成のほか、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりを推進していくとともに、各地区や団体、学校などを中心に、市民一人一人が、「する」「みる」「ささえる」のどの立場においても自主的に参加できるよう努めます。

① スポーツ・レクリエーション指導者の充実

スポーツ・レクリエーションに対する市民の多様なニーズに対応できるよう、指導者の育成及びその資質向上に努め、積極的な活用を推進します。

・指導者の育成及び確保

講習会、研修会への派遣を推奨し、指導者の育成及び資質の向上に努めます。

市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興を図るため、指導者の登録・紹介等を行う成田市スポーツリーダーバンクの指導者登録に努めています。

② 各種スポーツ大会・教室の開催

市民の健康・体力づくりや、スポーツを通じて交流を深めるため、各種スポーツ大会・教室を開催します。

特に子どもや高齢者・障がい者でも取り組みやすく、気軽に楽しむことができるスポーツ・レクリエーション種目の普及・啓発活動を促進します。

- ・近隣中学校野球大会
- ・成人高齢者体力・運動能力調査
- ・小学生相撲大会
- ・成田スポーツフェスティバル
- ・成田POPラン大会
- ・成田市スポーツ教室



2014成田POPラン大会

③ スポーツ団体の充実

いつでも、どこでも、気軽にできるスポーツの日常化を推進するため、スポーツや健康づくりに関わる団体の育成・支援に努めます。

- ・一般社団法人成田市体育協会
- ・成田市スポーツ少年団
- ・成田市スポーツ推進委員連絡協議会
- ・成田市健康ちば推進員連絡協議会
- ・成田市レクリエーション協会



第3回成田スポーツフェスティバル

④ 各種スポーツ大会の誘致

身近な場所でトップレベルのスポーツを観戦できる機会を提供することで、スポーツへの関心を深めるとともに、スポーツを通じた交流の促進を図るため、各種スポーツ大会を誘致します。

- ・ラグビーフェスティバル
- ・プロ野球イースタンリーグ公式戦
- ・世界少年野球大会千葉大会
- ・千葉県小学生相撲選手権大会
- ・バスケットボール日本リーグ公式戦

⑤ スポーツ施設の充実

市民のスポーツ活動を推進するため、スポーツ振興の拠点となるスポーツ施設の整備充実を図ります。

- ・スポーツ広場の整備充実
- ・運動公園等（中台運動公園、大谷津運動公園）の整備充実

また、市民の健康増進及び身近な場所でスポーツ活動の促進を図るため、スポーツ施設の管理運営を行います。

- ・運動公園等管理事業（中台運動公園、大谷津運動公園、下総運動公園、久住体育館、久住テニスコート）
- ・大栄野球場等管理事業（ナスパ・スタジアム、大栄B&G海洋センター外3施設）
- ・印東体育館管理運営事業
- ・パークゴルフ場管理運営事業（十余三パークゴルフ場、久住パークゴルフ場）
- ・スポーツ広場等管理事業（北羽鳥多目的広場、豊住第1スポーツ広場外12施設）
- ・地区運動施設管理事業（豊住・中郷・十余三・滑河・高岡運動施設）

⑥ 小・中学校の運動部活動の充実

児童生徒のスポーツ分野における将来性豊かな才能を伸ばす環境を整えます。

- ・課外体育活動支援指導者派遣事業

運動部活動を活性化し、充実するために、専門的な指導力を備えた指導者を必要とする市内

公立小・中学校に対して、一般社団法人成田市体育協会より指導者を派遣します。

⑦ 学校体育施設の開放

身近なスポーツ・レクリエーション活動の場である公立小中学校の体育施設（体育館・校庭等）を開放します。さらに、夏季休業中の学校プールの開放を行います。

(9) 平成27年度 生涯スポーツ課事業計画

月	日	内 容	月	日	内 容	
4	4	スポーツ少年団総会	9	5.6	第21回成田市近隣スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会	
	4	成田市レクリエーション協会総会		12	ニュースポーツフェスタ in 成田	
	18	成田市スポーツ推進委員連絡協議会総会		26	第23回成田市小学生相撲大会	
	18.19.25	第36回成田市近隣中学校野球大会	10	4	成田国際市民フェスティバル2015	
	27	成田市健康ちば推進員連絡協議会総会		10	第4回成田スポーツフェスティバル	
	29	一般社団法人 成田市体育協会総会		17	第20回成田市フォークダンス祭	
5	10	東印旛地区スポーツ推進委員連合会設立総会	10	17.18.24	第65回県民体育大会ソフトボール競技	
	16.17	第4回成田エアポートツーデーマーチ		18	第11回成田健康ウォーキング大会	
	17	東部五市体育大会（開催地：香取市）	31	成田市成人高齢者体力・運動能力調査		
	24	第22回成田市近隣スポーツ少年団サッカー交流大会	11	7	第12回市民ペタンク大会	
6	7	第12回成田市近隣スポーツ少年団ラグビー交流大会		7	バウンドテニスフェスタ2015	
	13	第13回成田ウォークラリー大会		8	2015成田POPラン大会	
	21	第2回成田ラグビーフェスティバル		15	千葉県小学生相撲選手権大会	
				15	関東デイウォーキング	
			29	バスケットボール日本リーグ公式戦		
			未定	成田市スポーツ少年団軟式野球新人戦		
7	21～27	学校プール開放（豊住小学校）	12	6	第32回千葉県スポーツ推進委員研究大会	
	25	プロ野球イースタンリーグ公式戦				
	28～31	学校プール開放（本城小学校）	1	17	第22回成田市スポーツ少年団駅伝交流大会	
	29～31	スポーツ少年団日独同時交流事業ドイツ団受け入れ	2	20	第11回市民ユニカール大会	
8	1	第21回千葉県スポーツ少年団成田市卓球交流大会		未定	成田市スポーツ教室	
	1～2	スポーツ少年団日独同時交流事業ドイツ団受け入れ		20.21	スポーツ少年団認定員養成講習会	
	1～3	学校プール開放（本城小学校）		3	6	第9回市民グランドバレーボール大会
	2～10	世界少年野球大会千葉大会			14	第13回市民パークゴルフ大会
	4～10	学校プール開放（下総みどり学園）				
10～26	世界陸上北京大会 アメリカチーム事前キャンプ					

2 公民館

(1) 魅力ある公民館活動の推進

公民館は、生涯学習の身近な拠点として市民がグループで行う自主的活動を尊重し、学習や文化活動の支援をしています。

また、市民の多様化する学習課題に適切に応えるため、子どもから高齢者までを対象とした主催事業を各種実施しています。併せて、学校と地域社会の結びつきを深めるため、子どもたちの体験活動を支援する事業を実施することに努めます。

今後も新規利用者の拡大を図り、市民から求められる魅力ある講座を開催するように努めるとともに、市民に気持ちよく施設を利用していただくため、適切な管理を行います。

(2) サークルの育成・活用の推進

公民館を学習の場として多くのサークルが継続的に利用しています。従来のサークルは、公民館主催の教室から生まれたものが多かったのですが、最近では、教養・学習・趣味等の各部門で、同志が集い自主的にサークルを結成し、活動するものが増えてきています。こうしたサークルによる自主的な学習活動を推進するとともに、サークル間の連携・交流を支援します。(平成27年4月現在で653サークル)

(3) 公民館ボランティア推進事業

公民館サークル等がその活動で培ったノウハウの地域還元を目指し、ボランティア活動などの機会を提供します。ボランティア活動は地域住民に学習の場を提供するだけでなく、学んだことを人に教えることが刺激となり、より良いサークル活動へ繋がることから今後も取り組んでいきます。

(4) こども体験学習セミナー

公民館を拠点に、子どもたちの生活体験や自然体験など様々な体験活動を支援するため「こども体験学習セミナー事業」を実施します。高学年の部では、「なりた冒険塾」と題し、子どもたちが自分達で企画実施する要素を盛り込み、体験活動を含め、7回の開催を予定しています。

また、低学年の部では安全教室や施設見学など保護者とともに様々なことを体験する「親子体験学習セミナー」を7回開催し、親子のふれあいを深める機会の充実に努めます。



防災体験

(5) 広報活動の充実

公民館活動を活発にするため、広報活動の充実を図ります。まなび&ボランティアサイトや“公民館だより”、“広報なりた”を活用することはもとより、ホームページの作成、チラシの配布、ポスターの掲示など、あらゆる機会を通じて広報活動を行います。

(6) 平成27年度の教室・講座計画

公民館名	講座・教室名	対象
中 央	外国人のための日本語教室（4クラス）	外国人
	セカンドライフ支援セミナー	55歳以上の市民
	なりた冒険塾	小学4～6年生
	親子体験学習セミナー	小学1～3年生
	なりた郷土史セミナー	成人
	夏休み親子科学実験教室	小学生と親
	空港わくわく探検隊	小学生
	外国人のための日本語教室ボランティア研修会	日本語教室ボランティア
	ドラテク道場	成人
公 津	親子えびがに釣り教室	小学生と親
	夏休み子ども教室	小学生
	水墨画教室	成人
	公津しだれ桜ふれあいまつり	どなたでも
久 住	夏休み親子工作教室	小学生と親
	着物をほどいてリサイクル	成人
	久住地区歴史ウォーキング	成人
橋賀台	ニュータウン地区歴史散歩	成人
	英語で遊ぼう！（2歳児）	2歳児と親
玉 造	子どもお囃子教室	小学生
	玉造ファミリーコンサート	どなたでも
	楽器作り教室	成人
	マジック教室	成人
豊 住	やまもも親子広場	1～4歳児と親
	夏休み子どもトールペインティング教室	小学生
	豊住地区生活セミナー	成人
成 田	パン作り教室	成人
	夏休み親子蕎麦打ち教室	小学生と親
	クリスマス飾り作り教室	成人
八 生	こども生け花体験教室	小学生
	八生地区生きがいセミナー	高齢者
中 郷	中郷地区生きがいセミナー	高齢者
	陶芸教室	成人
遠 山	植木剪定教室	成人
	夏休み親子茶道体験教室	小学生と親
	ベビー・ヨーガ教室	0歳児と親
	プレゼント・スイーツ作り教室	小学5年生以上
下 総	下総地区歴史ウォーキング	成人
	下総サークル発表会	成人
大 栄	唄おう！民謡教室	成人
	大栄ふるさと文化まつり	成人
	正月用生け花教室	成人
	大栄地区歴史ウォーキング	成人
	生きがいセミナー	高齢者
	伊能歌舞伎鑑賞教室	成人

成田市公民館まつり 10月23日(金)、24日(土)、25日(日)

3 図書館

本館を中心に、公津の杜分館と14か所の公民館図書室等により、市内全域に図書館サービスを提供しています。

(1) 図書館サービスの充実

① 利用者の利便性の向上

図書等の自動貸出機の設置やインターネットコーナーの座席予約管理システムを導入し、利用者の利便性の向上を図るとともに、本館には予約資料の貸出しをよりスムーズに行うための予約受取コーナーを設け、公津の杜分館には自動返却仕分機を設置し、貸出手続きの簡素化や返却後の排架作業の効率化を図っています。更には、資料の予約や、貸出期限の延長をインターネットで申し込むサービスの普及にも努めています。

② 情報提供機能の充実

地域を支える情報拠点として、市民の生活、文化、生涯学習、レクリエーションなど、各分野の課題解決を支援するための情報提供機能の充実を図っていきます。

本館及び公津の杜分館にはインターネットコーナーを設置し、本館の参考資料室では、外部のオンラインデータベースが利用できる環境を整えています。

また、図書館ホームページには、時事問題やその時々キーワードから、簡単に関連資料が検索できる「クイックサーチ」を取り入れるとともに、様々な調査依頼に対して、的確かつ迅速に処理するために、過去のレファレンス事例のデータベース化にも努めています。

③ 資料の収集・整理

資料の収集・整理・除籍を積極的に行い、魅力ある蔵書構成に努めています。除籍した資料は、小中学校へ提供するほか本館のリサイクルコーナーやイベント会場などで、利用者等へ無料で配布しています。

④ 各種講座の開催

文学講座、市史講座、及び科学あそび講座を開催し、学習機会を提供します。

(2) 子どもの読書活動の推進

① 図書館でのおはなし会

図書館では、毎週土曜日に幼児から小学生向けにおはなし会を開催しています。絵本の読み聞かせ中心の会のほか、毎月第3土曜日は、おはなし（語り）を中心としたプログラムで行います。昔話などのおはなし（語り）では、絵本と違い絵のイメージにしばられることなく、耳から聞いたお話の世界を自由



なつやすみ おはなしかい

に想像し楽しむことができます。語りを聞く経験は、「言葉」による想像力を育み、読書へとつなぐ架け橋の役目も果たしてくれます。

また、乳幼児期から読書に親しむ機会を提供し、読み聞かせなどの子どもへの働きかけの重要性を保護者に理解してもらうために、「えほんとおそぼうー0・1歳のおはなしかい」及び「えほんとおそぼうー2・3歳のおはなしかい」を開催し、絵本の読み聞かせ、わらべうたあそび、絵本の紹介などを行います。

「はるやすみ おはなしかい」・「なつやすみ おはなしかい」は、司書とおはなしボランティアグループの共催で行い、おはなしや絵本だけでなく、小道具を使った楽しいプログラムを取り入れ、たくさん子どもたちに読書への誘導を図ります。

② 学校訪問おはなし会

多くの子どもたちに直接働きかける取り組みとして、ボランティアの協力で、小学校を訪問して「おはなし会」を行います。おはなしや絵本の読み聞かせ、わらべうたなどの手遊びを通じて豊かな感受性を育みながら読書に対する関心を持たせるよう働きかけます。本の紹介や、市立図書館、学校図書室のPRも行い、子どもの読書活動の推進に努めます。

③ ボランティアとの連携・支援

おはなし会等の事業を重点的に行うため、ボランティアと協力して勉強会や講座の開催に努め、研修事業なども行います。また、小学校などで読み聞かせをするボランティアを支援するために、初心者向けの「絵本の読み聞かせ講座」を開催します。

④ 学校図書館との連携

学校図書館司書との合同研修を実施します。また、調べ学習に必要な資料など、学校図書館の蔵書では対応できないものを貸出し、学校図書館の活動を支援します。

(3) 公津の杜分館・公民館図書室等によるサービス

本館を中心に、公津の杜分館、公民館図書室等をサービスポイントとして市内全域にサービス網を構成し、巡回車にて資料を配送しています。また、全館をオンラインで結び、迅速なサービスの提供に努めています。

平成25年に開館した公津の杜分館は、もりんぴあこうづ（公津の杜コミュニティセンター）内にあり、蔵書約9万冊を備える大型分館です。地域の新しい図書館として、子どもと子育て世代へのサービスに重点を置くとともに、高齢者にも配慮したくつろぎ空間のある閲覧スペースを設け、長時間滞在型の利用にも対応できるようにしています。

(4) 障がい者サービス

身体上の理由で図書館の利用が困難な方々に対し、資料の宅配や録音図書の貸出しを行います。また、大活字本や拡大読書器、音声読書器による読書支援や音訳協力者養成講座を実施しています。

(5) 平成27年度 図書館事業計画

事業名	開催時期等	内 容
図書館講座	7～11月	7月に児童講座（科学あそび）、9月に文学講座、及び11月に市史講座を開催予定。市民の文化的教養や子どもの読書意欲を高めるための学習機会を提供します。
定例おはなし会	通 年	えほんのおはなしかい：4歳～小学生対象 おはなしかい：5歳～小学生対象 0・1歳のおはなしかい：0・1歳児とその保護者対象 2・3歳のおはなしかい：2・3歳児とその保護者対象
季節のおはなし会	各1回	はるやすみ おはなしかい：3歳～小学生とその保護者対象 なつやすみ おはなしかい：3歳～小学生とその保護者対象 大人のためのおはなし会：16歳以上対象
学校訪問おはなし会	随 時	市内の小学校を職員とボランティアが訪問し、おはなし会を実施。日頃、親しんでいる種類や分野とは違う本にも興味を持たせ、読書の幅を広げるきっかけづくりをサポートします。
絵本の読み聞かせ講座	1 回	小学校などで読み聞かせをしている人、今後活動予定の人を対象に、講座を開催します。
音 訳 協 力 者 養 成 講 座	9 回	録音図書の充実や品質向上を目的とし、録音図書製作のための講座を開催します。
資 料 展 示	通 年	1階特設展示コーナーと児童展示コーナーでは、2か月ごとに図書館資料の企画展示を行います。2階展示コーナーでも郷土資料などを中心に年2～3回企画展示を行います。
蔵 書 点 検	11月17日～ 11月20日	資料の円滑な活用を図るために、蔵書の一斉点検を行います。

4 視聴覚サービスセンター

(1) 視聴覚教材・機材の整備充実と効果的な活用

当センターでは、視聴覚教材・機材のニーズを調査し、計画的に整備しています。

市販・寄贈教材だけでなく、各自治体などの団体が製作した教材についても、整備・貸出ができるように努めます。

① 幼児教育・学校教育

DVDや16ミリフィルムなどの視聴覚教材を整備し、活用を促進します。また、最新の視聴覚機器を整備し、貸出に対応します。

② 生涯学習

DVD教材を中心に整備し活用を促進することにより、広く市民の生涯学習を支援します。



子どもピンホールカメラ作り教室

(2) 視聴覚教育研修の充実

視聴覚教育を普及・発展させていく上で、機器の操作方法や教材製作方法等の実技研修は不可欠です。市民の多様なニーズに応えられるよう各種の講習会を開催します。

(3) 広報活動の充実と利用の促進

映画会については、「広報なりた」に随時掲載するとともに、市の各施設への掲示や区長回覧にて周知を図ります。講習会についても、「広報なりた」に随時掲載します。

(4) 平成27年度事業計画及び平成26年度活動状況

① 研修事業

研 修 名	対 象	平成27年度		平成26年度実績
		回 数	定 員	
16ミリ映写機操作技術講習会	一般	2回	1回15人	2回26人
ビデオカメラ講習会	一般・教員	2回	1回10人	2回16人
デジタルカメラ講習会	一般・教員	4回	1回10人	4回47人
子どもピンホールカメラ作り教室	小学生	2回	1回15人	2回21人

② 映画上映事業

土・日曜や夏休み期間に映画会を開催しています。平成27年度は、従来日曜に開催している映画会（一般向け）を、平日にも試行的に開催します。

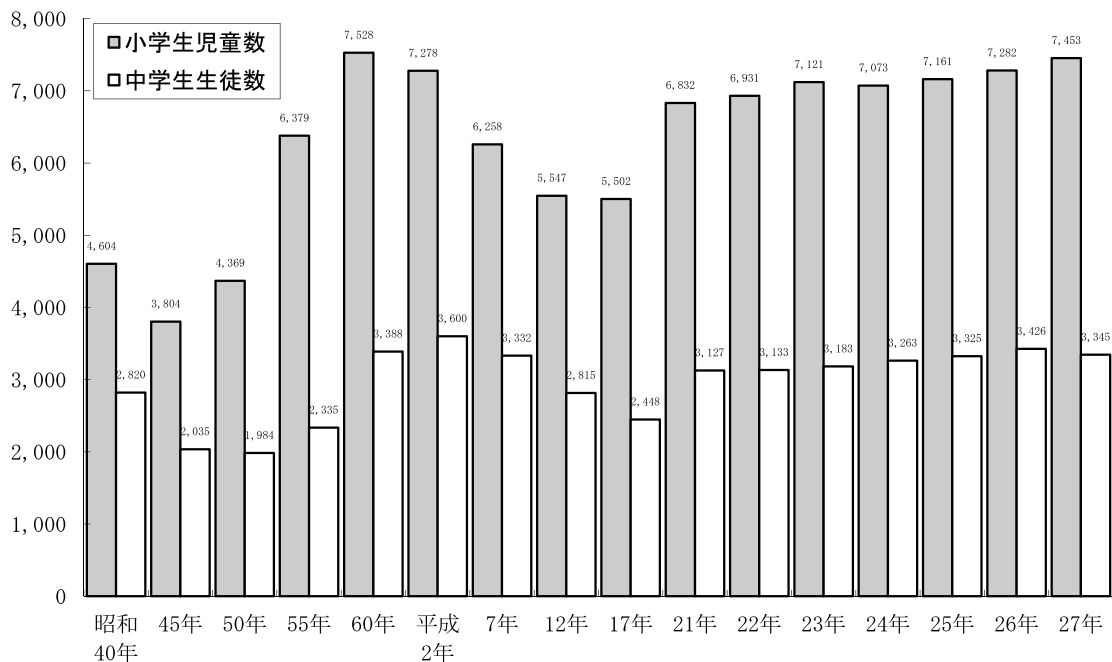
種 別	対 象	平成27年度 上 映 回 数	平成26年度実績	
			上映回数	観 客 数
映 画 会	一般	30回	29回	2,743人
親 子 映 画 会	親子	23回	22回	1,918人
夏 休 み 親 子 映 画 会	親子	4回	4回	252人
下 総 ・ 大 栄 親 子 映 画 会	親子	2回	2回	158人
合 計		59回	57回	5,071人

資料編

歴代教育長及び教育委員 平成27年10月1日現在

氏名	委員在任期間	備考(役職)	氏名	委員在任期間	備考(役職)
渡邊 由松	S29. 4. 27 ~ S31. 9. 30	委員長 S29. 4. 27 ~ S31. 9. 30	中村 欽哉	H 4. 12. 22 ~ H 7. 9. 30	教育長 H 4. 12. 25 ~ H 7. 9. 30
葛生清三郎	S29. 4. 27 ~ S31. 9. 30		三橋 成一	H 7. 10. 1 ~ H 8. 8. 20	教育長 H 7. 10. 1 ~ H 8. 8. 20
佐瀬三五郎	S29. 4. 27 ~ S31. 9. 30		太田 家廣	H 8. 9. 12 ~ H10. 5. 25	教育長 H 8. 9. 12 ~ H10. 5. 25
神崎 正	S29. 4. 27 ~ S31. 9. 30		荒井 清	H 8. 10. 1 ~ H23. 3. 31	委員長 H10. 10. 1 ~ H17. 9. 30 委員長 H18. 10. 6 ~ H23. 3. 31
豊田 操	S29. 5. 26 ~ S30. 9. 30	教育長 S29. 5. 26 ~ S30. 9. 30	大木 みわ	H 8. 10. 1 ~ H16. 9. 30	
松岡 明	S29. 5. 20 ~ S30. 3. 30		塚本 倫正	H 9. 10. 1 ~ H13. 9. 30	
行方富太郎	S31. 10. 1 ~ S32. 9. 30	教育長 S31. 10. 1 ~ S32. 9. 30	鬼澤 佳弘	H10. 7. 1 ~ H13. 6. 30	教育長 H10. 7. 1 ~ H13. 6. 30
橘 昌夫	S31. 10. 1 ~ S47. 9. 30	委員長 S31. 10. 1 ~ S47. 9. 30	伊藤 睦	H10. 10. 1 ~ H18. 9. 30	委員長 H17. 10. 1 ~ H18. 9. 30
岩沢 多門	S31. 10. 1 ~ S38. 9. 30		藤野 公之	H13. 7. 1 ~ H16. 6. 30	教育長 H13. 7. 1 ~ H16. 6. 30
吉岡栄一郎	S31. 10. 1 ~ S47. 9. 30		加瀬間俊勝	H13. 10. 1 ~ H15. 1. 20	
鈴木 勘	S31. 10. 1 ~ S33. 4. 17		山口 恵子	H15. 2. 19 ~ H25. 9. 30	
太田 家倚	S32. 10. 1 ~ S44. 9. 30	教育長 S32. 10. 1 ~ S44. 9. 30	大須賀久大	H16. 7. 1 ~ H20. 4. 30	教育長 H16. 7. 1 ~ H20. 4. 30
野平 吉衛	S33. 10. 1 ~ S37. 9. 30		小川 信子	H16. 10. 1 ~ H24. 9. 30	委員長 H23. 4. 27 ~ H24. 9. 30
竹尾クラ子	S37. 10. 1 ~ S39. 10. 20		秋山 皓一	H18. 10. 1 ~ H26. 9. 30	委員長 H24. 10. 1 ~ H26. 9. 30
檜垣 省吾	S38. 10. 8 ~ S42. 5. 9		関根 賢次	H20. 6. 7 ~ H21. 6. 30	教育長 H20. 6. 7 ~ H21. 6. 30
藤崎 光枝	S40. 3. 24 ~ S44. 9. 26		佐藤 玉江	H21. 7. 1 ~ H25. 3. 31	教育長 H21. 7. 1 ~ H25. 3. 31
檜垣 篤	S42. 7. 1 ~ H 4. 11. 30	教育長 S58. 4. 1 ~ H 4. 11. 30	小川新太郎	H23. 6. 18 ~ 現 在	委員長 H26. 10. 1 ~ H27. 9. 30
渋谷 榮一	S44. 9. 27 ~ H 2. 9. 30	委員長 S47. 10. 1 ~ H 2. 9. 30	高木久美子	H24. 10. 1 ~ 現 在	
阿波寄武夫	S44. 10. 1 ~ S61. 10. 14	教育長 S44. 10. 1 ~ S58. 3. 31	関川 義雄	H25. 4. 1 ~ H27. 9. 30	教育長 H25. 4. 1 ~ H27. 9. 30
山田 喜一	S47. 10. 1 ~ S55. 9. 30		福田 理絵	H25. 10. 1 ~ 現 在	
渡邊 義男	S47. 10. 1 ~ H 8. 9. 30	委員長 H 2. 10. 1 ~ H 8. 9. 30	佐藤 勲	H26. 10. 1 ~ 現 在	
谷 重吉	S55. 10. 1 ~ H 8. 9. 30		制度改正(平成27年4月1日施行)後に選任された教育長		
石原 芳文	S61. 12. 9 ~ H 9. 9. 30		氏名	在任期間	就任日
越川 重	H 2. 10. 1 ~ H10. 9. 30	委員長 H 8. 10. 3 ~ H10. 9. 30	関川 義雄	H27. 10. 1 ~ 現 在	H27. 10. 1

市立小・中学校の児童生徒数の推移 平成27年5月1日現在



市立小・中学校・幼稚園一覧

平成27年5月1日現在

学校名	所在地	電話	児童数	学級数	教職員数	校長名	PTA会長名
成田小学校	幸町948番地1	22-1334	716	26	42	小舘 修	宮崎 慶治
遠山小学校	小菅1411番地	35-0022	61	7	15	飯嶋 茂	池上 貴之
三里塚小学校	本三里塚153番地1	35-0049	433	18	29	麻野 英夫	木内 雅幸
久住小学校	久住中央3丁目12番地1	36-0006	316	14	22	依知川典子	石山 敏雄
豊住小学校	北羽鳥1985番地2	37-0004	61	7	13	醍醐 貞行	川島 太
八生小学校	松崎1468番地	26-8038	78	7	12	松井 豊	伊藤 裕史
公津小学校	台方851番地	26-2467	132	8	14	成清 稔	齊藤 好徳
向台小学校	中台3丁目6番地	26-4812	308	15	23	岩崎 京子	高木 昭夫
加良部小学校	加良部6丁目8番地	26-3517	726	25	34	神寄 諭	小山内秀明
橋賀台小学校	橋賀台3丁目4番地	27-2531	237	10	21	高安 輝司	住田 健二
新山小学校	加良部4丁目23番地	26-6767	219	11	17	岩崎 正彦	長尾 美宏
吾妻小学校	吾妻2丁目6番地	27-9060	708	24	34	内田 和子	上原 涼
玉造小学校	玉造3丁目4番地	28-3133	339	15	23	熱田 友広	土肥 剛
中台小学校	中台1丁目4番地	27-0753	157	8	16	吉永 和義	大迫 哲彦
神宮寺小学校	玉造5丁目28番地	26-3677	219	11	17	笹岡 良雄	成田 道彦
平成小学校	飯仲50番地1	22-1361	523	20	30	菅野 良司	竹重 元弘
本城小学校	本城178番地1	35-5533	328	15	24	竹尾 裕之	亀崎 典也
大須賀小学校	伊能547番地	73-2255	62	7	13	今西 邦雄	黄野 秀樹
桜田小学校	桜田941番地	73-3232	114	8	13	大石 忠男	佐藤 崇介
前林小学校	前林430番地	73-3344	61	8	13	宮田 照子	富岡 克己
津富浦小学校	津富浦1093番地	73-2277	120	8	14	山下 隆文	竹林 真
川上小学校	多良貝245番地308	73-3434	133	8	13	古屋 恵治	藤ヶ崎匡史
公津の杜小学校	公津の杜3丁目2番地	29-7770	791	26	38	渡邊 直行	高橋 雄一
美郷台小学校	美郷台2丁目19番地1	23-6011	346	14	22	宮島 孝仁	金子 和子
下総小学校 (下総みどり学園)	名古屋1214番地	96-0135	265	15	26	高山 勇	根本 博示
小 学 校 計		—	7,453	335	538	—	—

学校名	所在地	電話	生徒数	学級数	教職員数	校長名	PTA会長名
成田中学校	土屋928番地1	22-0304	532	19	40	鈴木 一彦	高橋 良和
遠山中学校	大清水19番地	35-0128	359	15	29	小川 昌俊	篠崎加代子
久住中学校	久住中央2丁目1番地	36-0602	74	5	15	佐々木英夫	高橋 一夫
西中学校	加良部5丁目11番地	26-2606	651	22	43	柳鶴 暁	谷本 健人
中台中学校	中台4丁目2番地	26-4201	286	11	25	相京 貢	永井 和則
吾妻中学校	吾妻1丁目24番地	26-6167	228	10	24	戸井 康子	倉島 淳一
玉造中学校	玉造3丁目7番地	27-0677	279	11	23	品地 敏明	高松 太樹
大栄中学校	伊能125番地	73-4820	259	11	24	渡邊 邦明	長島 順子
公津の杜中学校	公津の杜5丁目29番地	20-5511	543	18	36	高梨 哲生	横山 新紀
下総中学校 (下総みどり学園)	名古屋1214番地	96-0135	134	8	19	高山 勇	根本 博示
中 学 校 計		—	3,345	130	278	—	—

幼稚園名	所在地	電話	園児数	学級数	教職員数	園長名	PTA会長名
大栄幼稚園	白作115番地	73-8005	155	6	8	櫻崎 弘美	八木 久典

社会教育施設一覧

施設名	所在地	電話番号	延床面積
中央公民館	赤坂1丁目1番地3	27-5911	2,578㎡
公津公民館	宗吾1丁目839番地1	26-9610	556㎡
久住公民館	幡谷922番地2	36-1646	552㎡
橋賀台公民館	橋賀台1丁目43番地1	26-9695	532㎡
玉造公民館	玉造7丁目21番地	26-3644	550㎡
豊住公民館	北羽鳥2024番地1	37-1003	549㎡
成田公民館	田町299番地2	24-0787	1,603㎡
八生公民館	松崎317番地	27-1533	554㎡
中郷公民館	赤荻1587番地1	22-4614	551㎡
加良部公民館	加良部3丁目4番地1	28-7961	542㎡
遠山公民館	大清水48番地7	35-0600	1,000㎡
下総公民館	高岡1435番地	96-0090	2,489㎡
大栄公民館	松子393番地	73-7071	2,706㎡
成田市立図書館	赤坂1丁目1番地3	27-2000	5,179㎡
視聴覚サービスセンター	赤坂1丁目1番地3	27-2533	(558㎡)
成田市立図書館公津の杜分館	公津の杜4丁目8番地	27-7100	1,011㎡
三里塚御料牧場記念館	三里塚御料1番地34	35-0442	422㎡
下総歴史民俗資料館	高岡1500番地	96-0080	666㎡
生涯大 학교	囲護台1385番地6	20-3339	551㎡
生涯学習会館	花崎町523番地1	22-3958	332㎡
美郷台地区会館	美郷台3丁目3番地9	24-4352	605㎡
成田国際文化会館	土屋303番地	23-1331	7,060㎡
成田市文化芸術センター	花崎町828番地11	20-1133	3,021㎡

体育施設一覧

施設名(所在地)	施設内容
中台運動公園 (中台5丁目2番地)	体育館：アリーナ(バスケットボール3面、バレーボール4面)、柔道場、剣道場、卓球場、弓道場、トレーニング室、陸上競技場：日本陸上競技連盟規則第2種公認(ナイター施設)、野球場：1面(ナイター施設)、テニスコート：砂入り人工芝8面(ナイター施設5面)、プール：50mプール、25mプール、チビッツプール、球技場：1面(ナイター施設)、相撲場：土俵(屋内)
大谷津運動公園 (押畑952番地3)	野球場：1面(ナイター施設)、プール：50mプール、チビッツプール、多目的広場：1面(多目的広場)、テニスコート：全天候型2面、クレートコート2面
下総運動公園 (高岡1435番地)	野球場：1面(ナイター施設)、運動広場：1面(多目的広場)、テニスコート：砂入り人工芝4面(ナイター施設)、サイクリングコース：1周1.5km
ナスバ・スタジアム (一坪田410番地1)	野球場：1面(ナイター施設)
大栄B & G 海洋センター (一坪田388番地)	体育館：アリーナ(バレーボール2面、バスケットボール1面)、武道場、プール：25mプール、チビッツプール
久住体育館/久住テニスコート (幡谷922番地6)	体育館：アリーナ(バレーボール2面、バスケットボール1面) テニスコート：全天候型4面
印東体育館 (船形186番地2)	体育館：アリーナ(バレーボール2面、バスケットボール1面、卓球)
久住第1スポーツ広場 (久住中央4丁目23番地1)	多目的広場：1面
久住第2スポーツ広場 (小泉1131番地)	多目的広場：1面
豊住第1スポーツ広場 (南羽鳥570番地20/豊住工業団地内)	多目的広場：1面(ナイター施設)
豊住第2スポーツ広場 (竜台1744番地)	多目的広場：パークゴルフ
中郷スポーツ広場 (新泉19番地/野毛平工業団地内)	多目的広場：1面 テニスコート：全天候型2面
八生第1スポーツ広場 (宝田1733番地)	多目的広場：1面
遠山スポーツ広場 (本城103番地22)	多目的広場：1面 テニスコート：全天候型2面
神宮寺公園内多目的広場/テニスコート (玉造7丁目13番地/神宮寺公園内)	多目的広場：1面 テニスコート：全天候型1面
ニュータウンスポーツ広場 (台方1415番地)	野球場：1面 多目的広場：1面
公津スポーツ広場 (下方693番地2)	多目的広場：1面
成田クリーンヒル多目的広場 (吉倉116番地6)	多目的広場：1面
北羽鳥多目的広場 (北羽鳥139番地1)	多目的広場：1面(芝)、野球場：1面
大栄運動場 (一坪田405番地2)	多目的広場：1面
三里塚記念公園テニスコート (三里塚御料1番地34)	テニスコート：全天候型2面
外小代公園内テニスコート (玉造2丁目1番地/外小代公園内)	テニスコート：全天候型2面
八生第2スポーツ広場 (松崎317番地/八生公民館脇)	テニスコート：全天候型1面
大栄テニスコート (一坪田405番地7)	テニスコート：砂入り人工芝4面(ナイター施設)
久茂富第一公園テニスコート (吉岡709番地4/大栄工業団地内)	テニスコート：全天候型2面
十余三パークゴルフ場 (十余三64番地1)	9ホール(コース延長365m)
久住パークゴルフ場 (土室818番地2)	Aコース：9ホール(コース延長415m) Bコース：9ホール(コース延長430m)
豊住運動施設 (北羽鳥1975番地3)	体育館：アリーナ(バレーボール2面、バスケットボール1面、卓球) テニスコート2面、グラウンド
中郷運動施設 (赤荻1574番地)	体育館：アリーナ(バレーボール1面、ミニバスケットボール2面) グラウンド
十余三運動施設 (十余三27番地3)	体育館：アリーナ(バレーボール1面、ミニバスケットボール2面、卓球) グラウンド
滑河運動施設 (滑川1142番地)	体育館：アリーナ(バレーボール1面、バスケットボール1面、ミニバスケットボール1面)グラウンド
高岡運動施設 (大和田151番地)	体育館：アリーナ(バレーボール1面、バスケットボール1面、ミニバスケットボール2面)グラウンド

学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧

学校名	学 校 医			学校歯科医				学校薬剤師
	内 科 (*相談医)	耳 鼻 科	眼 科					
成田小学校	大田 暁 (健康管理医) 藤倉 國男 鈴木 薫	長谷川 修	橋 昌孝	土井 靖子	日暮 俊久 日暮 寛之	中村 始 中村 諸岡	始 治	大徳 秀幸
遠山小学校	* 太田不二雄		橋 昌利	土井 靖子	岡本 英彦			鈴木 廣邦
三里塚小学校	* 平野 憲朗 小倉 宏道	伊藤 眞綱	橋 昌利	加部東武徳	中村 始 萩原 領一	藤崎 芳明		鈴木 廣邦
久住小学校	* 菅谷 芳樹	牧瀬 敏裕	橋 昌利	伊豫田 稔	大野文之助	田中 和典		真鍋 知史
豊住小学校	* 平野 憲朗		橋 昌利	加部東武徳	大野文之助			平間多美代
八生小学校	* 京増 芳則		橋 昌利	加部東武徳	榮 洋子			平間多美代
公津小学校	* 木下 由彦		橋 昌利	保津 治道	平田 収			宍倉 清
向台小学校	* 安 徳純	川邊 成	橋 昌利	保津 治道	岡田 孝	諸岡 治		三橋 恒子
加良部小学校	黄 重毅 (健康管理医) 里見 久恵 渡辺 智之	遠藤富士乗	橋 昌利	保津 治道	平田 収 阿部 祐幸	永井 萩原 和広 領一		長岡美裕紀
橋賀台小学校	* 渡邊 剛毅	内山 明江	橋 昌利	山崎 直樹	斎藤 憲一	萩原 大輔		木内 英喜
新山小学校	* 安 徳純	塚田 正男	橋 昌孝	保津 治道	大木 康有	萩原 大輔		宍倉 弘記
吾妻小学校	* 鳥居 敏明 立花 智津子	國保 能彦 小倉 宏道	橋 昌利	山崎 直樹	野澤 隆之 齊藤 政治	阿部 智之 石坂 拓也		伊藤 雅代
玉造小学校	* 小田 龍二	尾崎 晴彦	橋 昌利	山崎 直樹	鳥山 栄	鈴木 正徳		伊藤 雅代
中台小学校	* 中島 克巳		橋 昌利	土井 靖子	池田 信子			板谷 徹
神宮寺小学校	* 片岡 満男	小田 龍二	橋 昌利	山崎 直樹	林田 弘毅	伊東総一郎		板谷 徹
平成小学校	* 内山 明江 里見 久恵	石神 博昭	橋 昌利	保津 治道	藤田 美之 小出 正義	野内 一嘉		宍倉 清
本城小学校	* 麻野 次男	大田 暁	橋 昌孝	土井 靖子	岡田 秀彦	高橋 洋樹		鈴木美知代
大須賀小学校	* 宮本 幹夫		橋 昌利	山崎 直樹	鳥山 栄			武田 典子
桜田小学校	* 吉田 博美		橋 昌利	土井 靖子	小太刀真人			武田 典子
前林小学校	* 高木 誠一		橋 昌孝	加部東武徳	小太刀真人			木内 茂喜
津富浦小学校	* 岡崎 亘裕		橋 昌利	山崎 直樹	入田 雅之			武田 典子
川上小学校	* 牧瀬 敏裕		橋 昌孝	加部東武徳	藤崎 芳明			木内 茂喜
公津の杜小学校	* 遠藤富士乗 伊藤けい子	木下 由彦 黒田 央文	橋 昌利	保津 治道	伊藤 健二 青柳 和孝	日暮 寛之 阿部 智之		長岡美裕紀
美郷台小学校	* 木内宗三郎	小倉 一久	橋 昌利	土井 靖子	鈴木 正徳	伊東総一郎		石井 通子
下総小学校 (下総みどり学園)	* 矢野 潔	根本 明久	橋 昌利	伊豫田 稔	川畑 恵一	角田 幸弘		金子 泰史
成田中学校	藤倉 國男 (健康管理医) 石原 輝英	長谷川 修	橋 昌孝	伊豫田 稔	日暮 俊久 栗田 隆史	岡本 英彦		大徳 秀幸
遠山中学校	* 伊藤 眞綱	太田不二雄	橋 昌利	土井 靖子	角田 幸弘	渡部 一郎		鈴木美知代
久住中学校	* 小倉 一久		橋 昌利	伊豫田 稔	岡田 孝			真鍋 知史
西中学校	石神 博昭 (健康管理医) 石川 鋭 櫻田 正也	黒田 央文	橋 昌利	保津 治道	永井 和広 富澤 圭一	榮 洋子 岩松 晃弘		木内 規之
中台中学校	* 塚田 正男	渡邊由希子	橋 昌利	土井 靖子	萩原 研一	高橋 洋樹		三橋 恒子
吾妻中学校	* 川島 明	中島 克巳	橋 昌利	山崎 直樹	岩松 晃弘	石坂 拓也		宍倉 弘記
玉造中学校	* 國保 能彦	尾崎 晴彦	橋 昌利	加部東武徳	大森 基夫	野内 一嘉		三橋 恒子
下総中学校 (下総みどり学園)	* 根本 明久		橋 昌利	伊豫田 稔	川畑 恵一			金子 泰史
大栄中学校	* 吉田 博美	岡崎 亘裕	橋 昌利	山崎 直樹	伊藤 健二	岡田 秀彦		木内 茂喜
公津の杜中学校	* 渡邊 剛毅 中町 裕	木内宗三郎	橋 昌利	保津 治道	藤田 美之 齊藤 政治	青柳 和孝		宍倉 弘記
大栄幼稚園	* 高木 誠一		橋 昌利	土井 靖子	入田 雅之			鈴木美知代

成田市内指定文化財等一覧表

平成27年4月1日現在

国指定文化財一覧 (重要文化財)

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1	建造物	竜正院仁王門	滑川	竜正院	延5. 5. 24	1棟	室町時代中頃の建築
2	"	旧御子神家住宅	大竹	千葉県	昭和44. 6. 20	1棟	房総のむらへ移築復元、安永8年(1779)建立
3	"	旧学習院初等科正堂	大竹	千葉県	昭和48. 6. 2	1棟	房総のむらへ移築復元、明治32年(1899)建立
4	"	新勝寺	成田	新勝寺	昭和55. 5. 31	5棟	元禄の旧本堂、元禄14年(1701)建立 安政の旧本堂、安政5年(1858)建立 正徳2年(1712)建立 文政13年(1830)建立 文久元年(1861)建立
		(光明堂)					
		(釈迦堂)					
		(三重塔)					
		(仁王門)					
5	彫刻	木造不動明王及二童子像	成田	新勝寺	昭和39. 5. 28	3躯	新勝寺の本尊
6	書跡	住吉物語	田町	成田山仏教図書館	昭和43. 4. 25	1帖	鎌倉時代中期の擬古物語
7	考古資料	南羽鳥中岫1遺跡土坑出土品	栄町	成田市	平成15. 5. 29	一括	人頭形土製品をはじめ縄文時代前期の土器・耳飾り・垂飾品など。千葉県立房総のむらにて展示
8	史跡	龍角寺古墳群・岩屋古墳	大竹他	国・千葉県・栄町・成田市・個人	平成21. 2. 21		追加指定・名称変更(岩屋古墳：昭和16. 1. 27)

(登録文化財)

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1		長興院山門	伊能	長興院	平成11. 7. 8	1棟	木造楼門、瓦葺、建築面積22㎡
2		石橋家住宅門	久井崎	個人	平成11. 7. 8	1棟	木造平屋建、瓦葺、建築面積5㎡
3		石橋家住宅南の蔵	久井崎	個人	平成11. 7. 8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積31㎡
4		石橋家住宅東の蔵	久井崎	個人	平成11. 7. 8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積30㎡
5		石橋家住宅土蔵	久井崎	個人	平成11. 7. 8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積40㎡
6		大野屋旅館	仲町	個人	平成17. 2. 9	1棟	木造3階建、スレート葺、建築面積603㎡、望楼付
7		一粒丸三橋薬局店舗	仲町	個人	平成22. 1. 15	1棟	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積63㎡
8		一粒丸三橋薬局土蔵	仲町	個人	平成22. 1. 15	1棟	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積42㎡

県指定文化財

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1	建造物	龍正院本堂 附 厨子一基	滑川	龍正院	昭和40. 4. 2	1棟	元禄11年(1698)建立
2	"	旧平野家住宅	大竹	千葉県	昭和47. 1. 28	1棟	房総のむらへ移築復元、江戸中期末の民家
3	"	龍正院銅造宝篋印塔 附 銅造棟札1枚	滑川	龍正院	昭和54. 3. 2	1基	享保3年(1718) 鑄造の棟札
4	彫刻	銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	大竹	円光寺	昭和57. 4. 6	3躯	延慶2年(1309) 銘あり
5	"	木造薬師如来坐像	船形	薬師寺	平成4. 2. 28	1躯	鎌倉時代の作
6	"	木造阿弥陀如来及び両脇侍像	冬父	迎接寺	平成5. 2. 26	3躯	平安時代末～鎌倉時代の作
7	"	木造金剛力士立像	船形	薬師寺	平成10. 3. 20	2躯	鎌倉時代の作
8	工芸	半円方格帯変形神獸鏡	土屋	成田山霊光館	昭和43. 4. 26	1面	下方、浅間下の通称丸塚より出土
9	"	梵鐘	土室	祥鳳院	昭和44. 1. 10	1口	乾元2年(1303) 銘あり
10	"	梵鐘	宗吾	薬師寺	昭和48. 3. 2	1口	応長元年(1311) 銘あり
11	"	梵鐘	吉岡	大慈恩寺	昭和49. 3. 19	1口	延慶3年(1310) 銘あり
12	"	鑄銅雲版	台方	超林寺	昭和52. 3. 8	1面	応永15年(1408) 銘あり
13	"	鑄造鰐口	滑川	龍正院	昭和57. 4. 6	1口	永正13年(1516) 銘あり
14	古文書	天正檢地帳			昭和57. 4. 6	2冊	天正19年(1591)の檢地帳
		(下総国香取郡遠山之庄御繩水帳)	川栗	個人			
		(下総国香取郡金山郷御繩打之水帳)	東金山	個人			
15	考古資料	新勝寺板石塔婆	成田	新勝寺	昭和34. 4. 24	2基	下総式板碑延元元年(1336)、明徳5年(1394) 銘あり
16	"	猫作・栗山古墳群 第16号墳 副葬品	高岡	成田市	平成6. 2. 22	一括	石枕3点、立花15点ほか
17	歴史資料	大慈恩寺宝物類	吉岡	大慈恩寺	平成5. 2. 26	73点	古文書類51点、絵画19点、金銅装箱3点
18	無形文化財	武術 天真正伝香取神道流	下福田	大竹利典	昭和60. 11. 29		平成21. 3. 17名称変更
19	"	武術 天真正伝香取神道流	下福田	大竹信利	平成16. 3. 30		平成21. 3. 17名称変更
20	有形民俗文化財	迎接寺 鬼舞面紋 附衣裳11点 菊紋 葵紋 付桐	冬父	迎接寺	昭和29. 12. 21		

県指定文化財

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考	
21	有形民俗文化財	新勝寺絵馬類	土屋	成田山霊光館	昭和38. 5. 4	22面		
		(繫馬の図)						谷文晁筆 天保2年奉納
		(祐天上人御利生の図)						一勇斎国芳筆 安政3年奉納
		(暫の図)						新川斎万太郎筆 文政6年奉納
		(石橋の図)						歌川豊国筆 文化11年奉納
		(花雲鐘入月の図)						鳥井清満筆 天保8年奉納
		(矢の根五郎の図)						香蝶楼国貞筆 文政8年奉納
		(市村座芝居番付の図)						鳥井清満筆 文政6年奉納
		(新発意太鼓の図)						鳥井清満筆 嘉永3年奉納
		(蘭陵王の図)						谷文晁筆 文政9年奉納
		(サークスの図)						陵高筆 明治35年奉納
		(大森彦七鬼女と争うの図)						惺々暁斎筆 明治13年奉納
		(夜討曾我の図)						一勇斎国芳筆 安政3年奉納
		(市原野の図)						沖一峨筆 天保4年奉納
		(韓信股くぐりの図)						長谷川雪旦筆 天保6年奉納
		(水滸伝中の人物の図)						一勇斎国芳筆 天保13年奉納
(西王母の図)						波藍筆 文政7年奉納		
(火消千組の図)						一勇斎国芳筆 天保4年奉納		
(牧童の図)						大西椿年筆 天保9年奉納		
(関流正統後藤政紀の算額)						明治2年奉納		
(成田山の書額)						徹斎筆 年不明		
(四季混雑狂歌の額)						宿屋飯盛一派 文政4年奉納		
(せったい所の招牌)						七代目団十郎 文政4年奉納		
22	〃	成田の商業用具	土屋	成田山霊光館	昭和50. 12. 12	100点	成田山講社定宿の看板ほか	
23	無形民俗文化財	成田のおどり花見	成田	成田おどり花見会	昭和39. 4. 28		国記録選択 江戸時代より伝承された弥勒おどり	
24	〃	取香の三番叟	取香	取香三番叟保存会	昭和62. 2. 27		毎年4月第1土曜日に演じられる	
25	史跡	小野派一刀流流祖小野治郎右衛門忠明・二代小野治郎右衛門忠常の墓	寺台	永興寺	昭和18. 4. 30		小野派一刀流流祖・開祖の墓	
26	〃	八代玉作遺跡	玉造	成田市	昭和41. 12. 2		管玉を主とした古代玉作遺跡	
27	〃	公津原古墳群	ニュータウン他	成田市	平成2. 3. 16	40基	5世紀～7世紀の築造	
28	天然記念物	小御門神社の森	名古屋	小御門神社	昭和49. 3. 19		16,881㎡	
29	〃	麻賀多神社の森	台方	麻賀多神社	昭和52. 3. 8		6,386㎡の社叢林である	

市指定文化財

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1	建造物	薬師堂	上町	新勝寺	昭和44. 11. 3	1棟	明暦の旧本堂 明暦元年(1655) 建立
2	〃	鐘楼	成田	新勝寺	昭和44. 11. 3	1棟	元禄14年(1701) 建立
3	〃	一切経堂	成田	新勝寺	昭和44. 11. 3	1棟	享保7年(1722) 建立
4	〃	清滝権現堂	成田	新勝寺	昭和44. 11. 3	1棟	享保17年(1732) 建立
5	〃	石造多層塔	大竹	円光寺	昭和44. 11. 3	1基	七層の石塔 応永10年(1403) 銘あり
6	〃	麻賀多神社本殿	台方	麻賀多神社	昭和46. 11. 3	1棟	寛文13年(1673) 建立
7	〃	輪転経蔵	成田	新勝寺	昭和47. 11. 3	1棟	享保年間の建造か
8	〃	龍正院宝篋印塔群	滑川	龍正院	昭和54. 3. 1	11基	慶長4年(1599)～寛永11年(1634)
9	〃	山王社(本殿)	奈土	昌福寺	昭和49. 6. 25	1棟	
10	絵画	絹本着色阿弥陀三尊来迎図	郷部	観音堂宝物保存会	平成10. 12. 25	1幅	江戸時代初期の作
11	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	土屋	薬王寺	昭和44. 11. 3	1躯	鎌倉時代の作
12	〃	木造延命地藏菩薩立像	幡谷	延命院	昭和45. 11. 3	1躯	鎌倉時代の作
13	〃	十一面観世音菩薩像	稲荷山	個人	昭和55. 5. 12	1躯	中国「唐」時代の渡来仏か
14	〃	木造聖観音坐像	寺台	永興寺	昭和60. 2. 1	1躯	応永6年(1399) 銘あり
15	〃	木造観音菩薩立像	土室	土室台郭観音様会	平成1. 12. 20	1躯	南北朝時代の作
16	〃	木造虚空蔵菩薩坐像	江弁須	正蔵院	平成10. 3. 27	1躯	南北朝時代の作
17	〃	銅造十一面観音菩薩像	村田	耕田寺	平成2. 3. 9	1躯	南北朝時代の作
18	〃	昌福寺欄間	奈土	昌福寺	平成15. 2. 4	11面	元禄年間の作

市指定文化財

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
19	彫刻	木造地藏菩薩坐像	新井野	高福寺	寛25. 3. 25	1躯	13世紀後半の作
20	"	木造薬師如来坐像	成田	新勝寺	寛26. 8. 26	1躯	12世紀前半(推定)
21	工芸	懸仏	大竹	観行院	昭和47. 11. 3	1面	紀年銘なし
22	"	保目神社の懸仏	寺台	寺台保目神社 宝物保存会	寛13. 12. 4	1面	室町時代の作か
23	書跡	国学者鈴木雅之の著書	田町	成田山仏教図書館	昭和44. 11. 3	79点	民政要論略篇ほか
24	"	高札	土屋	成田山霊光館	昭和44. 11. 3	7点	邪宗門禁止の高札ほか
25	"	版木	土屋	成田山霊光館	昭和44. 11. 3	56点	幕末の歌人神山魚貫「苔清水」の版木
26	"	幡谷家文書	押畑	個人	昭和47. 11. 3	一括	北条氏政・氏直の文書ほか
27	考古資料	板石塔婆	宗吾	東勝寺	昭和44. 11. 3	2基	下総式板碑 康永元年(1342) 銘あり
28	"	硬玉製大勾玉	幸町	個人	昭和44. 11. 3	1個	郷部出土コノ字形勾玉
29	"	平貞胤供養碑	台方	超林寺	昭和45. 11. 3	1基	観応2年(1351) 銘あり
30	"	金銅製経筒	土屋	成田山霊光館	昭和44. 11. 3	1基	大永8年(1528) 銘あり
31	"	弥生式壺型土器	土屋	成田山霊光館	昭和44. 11. 3	1基	南関東系弥生式土器
32	"	竜角寺出土文字瓦	土屋	成田山霊光館	昭和44. 11. 3	2枚	「朝布」「加刀利」のへら書あり
33	"	八代玉作遺跡出土品	土屋	成田山霊光館	昭和45. 11. 3	一括	管玉の製作工程を示す遺物ほか
34	"	大和田玉作り資料	高岡	成田市	昭和54. 3. 1	18ケース	古墳時代中期の玉類製作工程を示す資料
35	"	板碑群	吉岡	大慈恩寺	寛2. 3. 9	27基	南北朝～室町時代の下総式板碑群
36	"	南羽鳥正福寺遺跡 第1地点1号墳出土埴輪	高岡	成田市	寛13. 12. 4	一括	ムササビ形をはじめとする形象埴輪や円筒埴輪
37	歴史資料	伊能図(中図)	田町	成田山仏教図書館	寛8. 3. 19	8枚	大きいもので縦8尺6寸横4尺 小さいもので縦4尺8寸横4尺2寸
38	有形民俗文化財	竜台の百庚申	竜台	竜台百庚申保存会	寛6. 3. 15	100基	宝暦2年(1752)～安政6年(1777) 銘あり
39	"	紙本着色地藏十王図	郷部	観音堂宝物保存会	寛10. 12. 25	11幅	江戸時代中期の作
40	"	ガラス絵馬及び板絵馬類	中里	楽満寺	寛18. 3. 17	39面	ガラス絵馬18面、板絵馬21面
41	無形民俗文化財	台方麻賀多神社神楽	台方	麻賀多神社神楽会	昭和50. 10. 6		毎年7月最終日曜日に演じられる
42	"	北羽鳥香取神社獅子舞	北羽鳥	北羽鳥香取神社 獅子舞保存会	昭和50. 10. 6		毎年4月第1日曜日に演じられる
43	"	西大須賀の神楽	西大須賀	西大須賀神楽会	寛8. 12. 25		毎年4月15日・16日前の土・日曜日に八幡神社、耀窟神社で演じられる
44	"	伊能歌舞伎	伊能	伊能歌舞伎保存会	寛14. 2. 5		毎年4月17日以降の日曜日に大須賀大神で演じられる
45	史跡	国学者鈴木雅之の墓	南羽鳥	個人	昭和44. 11. 3	1基	鈴木家累代の墓地内にあり
46	"	式内社麻賀多神社	台方	麻賀多神社	昭和44. 11. 3	2社	台方社、船形社の2社あり
47	"	利生塔礎石群	吉岡	大慈恩寺	昭和51. 11. 11	一括	元禄16年(1703) 再建の利生塔礎石群
48	"	経文塚	前林	個人	昭和53. 12. 21	1基	享保20年(1735) の碑文あり
49	"	寺台河岸跡	寺台	個人	昭和61. 11. 3		江戸時代、成田水運の要地
50	"	奈土貝塚	奈土	個人	平成2. 3. 9		ヤマトシジミ主体の縄文時代晩期の地点貝塚
51	天然記念物	来迎寺の大カヤ	松崎	来迎寺	昭和46. 11. 3	1樹	目通り幹回り約4メートル
52	"	押畑の大シイ	押畑	個人	昭和46. 11. 3	1樹	" 約9メートル
53	"	久米の大シイ	久米	個人	昭和47. 11. 3	1樹	" 約5メートル
54	"	新勝寺の大ケヤキ	成田	新勝寺	昭和47. 11. 3	1樹	" 約6メートル
55	"	水神の森	北須賀	麻賀多神社	昭和58. 11. 3		松の木16本の森
56	"	東光寺のイヌマキ	青山	東光寺	昭和59. 6. 14	1樹	目通り幹回り約4メートル
57	"	船形の大シイ	船形	薬師寺	寛7. 4. 20	1樹	" 約6メートル
58	"	赤荻の大エノキ	赤荻	成田市	寛23. 3. 1	1樹	" 約4.3メートル
59	名勝	夫婦松と芭蕉句碑	滑川	龍正院	昭和62. 4. 21		句碑に寛政5年(1793)の銘あり

記録選択

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1	無形民俗文化財	成田のおどり花見	成田	成田おどり花見会	昭和53. 1. 31		国記録選択 江戸時代より伝承された弥勒おどり
2	"	奈土のオビシヤ	奈土	奈土5区・6区	寛4. 2. 28		県記録選択 毎年2月13日後の土曜日から日曜日に実施

平成26年度 学校体育施設開放利用状況

単位：人

	利用延日数	体育館延人数	運動場延人数	その他	利用延計	利用団体計
成田小	290	7,305	3,330	3,245	13,880	561
遠山小	76	1,528	638	0	2,166	84
三里塚小	306	9,383	56	0	9,439	484
久住小	162	3,309	1,230	0	4,539	227
豊住小	148	2,085	80	0	2,165	150
八生小	231	6,875	3,270	0	10,145	362
公津小	344	9,316	5,800	0	15,116	629
向台小	291	6,150	4,694	0	10,844	502
加良部小	322	8,241	5,310	300	13,851	554
橋賀台小	255	9,104	5,520	300	14,924	438
新山小	299	9,913	3,410	0	13,323	526
吾妻小	276	18,329	18,680	0	37,009	582
玉造小	332	25,944	10,850	840	37,634	612
中台小	346	17,809	6,115	0	23,924	656
神宮寺小	284	15,490	11,220	0	26,710	515
平成小	316	18,086	5,640	0	23,726	738
本城小	311	8,313	100	0	8,413	395
大須賀小	71	1,860	0	0	1,860	71
桜田小	48	548	0	0	548	48
前林小	130	4,905	3,462	0	8,367	152
津富浦小	94	3,000	0	0	3,000	94
川上小	103	1,652	1,560	0	3,212	129
公津の杜小	334	18,051	6,600	0	24,651	644
美郷台小	312	10,171	6,780	0	16,951	551
下総小	17	345	0	0	345	17
小学校計	5,698	217,712	104,345	4,685	326,742	9,721

	利用延日数	体育館延人数	運動場延人数	その他	利用延計	利用団体計
成田中	265	4,256	0	0	4,256	279
遠山中	207	2,249	80	0	2,329	207
久住中	351	4,704	0	0	4,704	361
西中	338	5,892	60	5,595	11,547	480
中台中	266	6,162	0	0	6,162	313
吾妻中	277	3,533	9,270	0	12,803	551
玉造中	261	2,945	0	1,940	4,885	354
下総中	134	1,691	0	225	1,916	141
大栄中	240	3,261	1,620	0	4,881	279
公津の杜中	350	9,008	0	0	9,008	800
中学校計	2,689	43,701	11,030	7,760	62,491	3,765

合計	8,387	261,413	115,375	12,445	389,233	13,486
----	-------	---------	---------	--------	---------	--------

平成26年度 公民館利用状況

単位：人

	開館 日数	主催事業	行政関係	サークル 関 係	その他 団 体	その他 利 用	図 書	合 計	
中央公民館	329	11,696	18,394	60,607	1,914	7,894	-	100,505	
公津公民館	295	703	3,586	11,814	482	0	1,005	17,590	
久住公民館		107	1,759	3,127	0	0	810	5,803	
橋賀台公民館		178	852	12,464	46	65	1,257	14,862	
玉造公民館		310	3,941	20,917	333	4	3,392	28,897	
豊住公民館		287	1,354	3,289	30	0	321	5,281	
成田公民館		249	4,138	7,758	502	0	11,544	24,191	
八生公民館		204	2,287	9,047	27	0	293	11,858	
中郷公民館		114	2,386	5,392	0	0	425	8,317	
加良部公民館		75	1,619	17,185	24	0	703	19,606	
遠山公民館		133	1,621	10,534	289	2	515	13,094	
下総公民館		298	4,472	9,620	522	125	1,364	16,401	
大栄公民館		1,255	12,691	10,630	211	941	2,834	28,562	
合 計			15,609	59,100	182,384	4,380	9,031	24,463	294,967

平成26年度 図書館資料点数及び利用状況

館名	資料点数(平成27年3月31日現在)						資料貸出利用者数及び貸出点数				
	図書(冊)		雑誌 (冊)	A V (点)	録音 図書 備品等 (点)	合計	開館日数 (日)	利用者数 (人)	一日平均 (人)	貸出点数 (点)	一日平均 (点)
	一般書	児童書									
本館	493,214	199,398	47,222	12,923	665	753,422	292	242,500	830	924,615	3,166
公津の杜 分館	74,778	22,554	1,095	0	3	98,430	292	74,556	255	281,985	966
公津公民館 図書室	3,397	3,465	89	0	0	6,951	277	1,005	4	2,531	9
久住公民館 図書室	1,965	2,313	0	0	0	4,278	277	810	3	2,408	9
橋賀台公民館 図書室	3,998	3,178	89	0	0	7,265	277	1,257	5	3,393	12
玉造公民館 図書室	4,931	4,468	155	0	0	9,554	277	3,392	12	9,417	34
豊住公民館 図書室	2,143	2,621	0	0	0	4,764	277	321	1	765	3
成田公民館 図書室	32,330	12,711	680	0	0	45,721	277	11,544	42	34,907	126
加良部公民館 図書室	4,054	3,928	89	0	0	8,071	277	703	3	1,711	6
中郷公民館 図書室	2,898	3,987	0	0	0	6,885	277	425	2	1,263	5
遠山公民館 図書室	4,322	3,954	122	0	0	8,398	277	515	2	1,840	7
八生公民館 図書室	3,845	3,135	0	0	0	6,980	277	293	1	922	3
美郷台地区会館 図書室	3,510	4,241	262	0	0	8,013	277	2,963	11	11,189	40
三里塚コミュニ ティセンター 図書室	6,006	5,216	453	0	0	11,675	291	6,518	22	24,994	86
下総公民館 図書室	5,189	2,499	80	0	0	7,768	277	1,364	5	4,839	17
大栄公民館 図書室	6,987	4,892	113	0	0	11,992	277	2,834	10	12,692	46
図書宅配便	—	—	—	—	—	—	—	14	—	54	—
※	郵送	—	—	—	—	—	—	71	—	106	—
	宅配	—	—	—	—	—	—	39	—	193	—
合計	653,567	282,560	50,449	12,923	668	1,000,167	—	351,124	—	1,319,824	—

※障がい者サービス

市内高等学校・私立小中学校・私立幼稚園

◎高等学校

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
県立成田西陵高等学校	松崎 20 番地	26-8111
県立成田国際高等学校	加良部 3 丁目 16 番地	27-2610
県立成田北高等学校	玉造 5 丁目 1 番地	27-3411
県立下総高等学校	名古屋 247 番地	96-1161
私立成田高等学校	成田 27 番地	22-2131

◎私立小・中学校

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
成田高等学校附属小学校	田町 10 番地	23-1628
成田高等学校附属中学校	成田 27 番地	22-2131

◎私立幼稚園

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
成田幼稚園	上町 633 番地 2	22-0059
三里塚幼稚園	三里塚御料 1 番地 674	35-0139
はぼたん幼稚園	加良部 1 丁目 11 番地	28-1234
聖徳大学附属成田幼稚園	中台 3 丁目 8 番地	26-3371
くすのき幼稚園	船形 828 番地	26-6688
はくと幼稚園	吾妻 3 丁目 51 番地	26-2331
はしが台幼稚園	橋賀台 3 丁目 5 番地	26-5661
玉造幼稚園	玉造 1 丁目 3 番地 1	28-3131
公津の杜幼稚園	公津の杜 4 丁目 7 番地 1	27-6699

平成27年度 なりたの教育
発行 成田市教育委員会
編集 教育総務部 教育総務課
〒286-8585
成田市花崎町760番地
電話 0476-20-1580
発行日 平成27年10月
登録番号 成教総 15-020



この印刷物は、環境にやさしい大豆油インキを使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

本なりたの教育は、再生紙を使用しています。